

平成 30 年度

事業報告書

社会福祉法人
札幌報恩会

— 目次 —

I 平成 30 年度 施策の成果	1
1. 事業の期間	1
2. 施策の成果	1
II 平成 30 年度 事業実績	1
1. 法人本部 実績	1
(1) 運営管理	1
(2) 組織管理	1
(3) 人事管理	1
(4) 労務管理	2
(5) 財務管理	2
(6) リスクマネジメント	2
(7) 理事会・評議員会の開催及び監事監査の実施	2
① 理事会の開催	
② 評議員会の開催	
③ 監事監査の実施	
(8) 新人及び中途採用試験結果(合格者)	4
(9) 避難訓練	6
(10) 法人研修	8
(11) 法人行事関連	9
(12) 職員厚生会	10
(13) 経営コンサルタント(吉岡経営センター)実績	10
1. 職員研修	
2. 会計監査	
3. 預り金監査	
4. 職員アンケート	
(14) 地域貢献活動 取り組み状況	11
(15) 設備の改善状況	13

2. 各事業所実績	15
【札幌報恩学園 概要】	15
施設入所支援・生活介護・短期入所	
【グリーンホーム厚別 概要】	27
施設入所支援・生活介護・短期入所	
【そよ風 概要】	38
生活介護	
【ワークショップ上野幌 概要】	43
生活介護・就労継続支援A・就労継続支援(B型)～ 多機能型	
【のぞみ寮 概要】	50
宿泊型自立訓練	
【くるみ寮 概要】	55
共同生活援助 ～ 介護サービス包括型	
【ホープス 概要】	60
就労継続支援(B型)・就労移行支援 ～ 多機能型	
【サポート91 概要】	65
居宅介護・行動援護・重度訪問介護・同行援護・移動支援	
【ステーション106 概要】	69
相談支援	
【就業・生活相談室しんさっぽろ 概要】	72
就業・生活相談	
【まごころ保育園 概要】	76
保育事業	
【幌西ほうおん 概要】	83
生活介護・就労継続支援(B型)～ 多機能型	

I. 平成 30 年度 施策の成果

1. 事業の期間

平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日

2. 施策の成果

* 中期経営計画の機能別5分野について、平成 30 年度(2018 年度)についての施策成果(達成状況)を報告する。

別紙 中期経営計画 2018 年事業報告 参照

II. 平成 30 年度 事業実績

1. 法人本部 実績

(1) 運営管理(ガバナンス関連)

- 理事会、定時評議員会は予定通り開催、理事、業務執行理事の業務執行状況報告を理事会ごとに報告を行った。
- 年 2 回環境整備委員会を開催、理事会で報告を行った。
- 社会福祉充実残額の計画は 10 月に終了。
- 後援会活動、町内会活動は概ね参加できた。
- 法人全体のIT関連を整理し、セキュリティ強化を実施。
- 会計監査人による予備調査を実施。

(2) 組織管理

- 平成 30 年度の中期経営計画は概ね達成できた。創立 100 周年において「法人経営理念」を策定し、これを目標とした第 4 次中期経営計画(2019~2021)を年度末に作成した。
- 預り金監査は外部に委託。
- 法人本部強化に向けては、建物(cafè+利用者活動スペース+事務所)は完成、内部管理体制作成は一部達成。

(3) 人事管理

- 福祉職場ガイダンスへは積極的に参加し、毎月採用試験を実施したが、年度末にお

いても充足できず欠員のままのスタートとなった。今後の課題である。

- ・ 目標管理制度を継続して正職員登用制度を実施した(臨から正へ 4名)。
- ・ エルダー制度は継続実施。
- ・ メンタルヘルス対策は外部の病院と提携して、メンタルチェックと研修を依頼した。

(4) 労務管理

- ・ 年4回の社労士の訪問にてアドバイスを受けた。
- ・ 規程変更の説明会は、法人研修をとおして実施。

(5) 財務管理

- ・ 財務分析は月次会議を中心に報告した。
- ・ 設備計画(購入、工事、改修等)は概ね達成できた。
- ・ 事業間繰入金の出し入れが多く、積立金の整理は未実施。

(6) リスクマネジメント

- ・ 法人合同の災害訓練を実施した。9月6日の北海道胆振東部地震では、建物には大きな被害はなかったが、日ごろの準備の大切さを再確認した。

(7) 理事会・評議員会の開催及び監事監査の実施

① 理事会の開催

開催回	開催年月日	審議事項	
第1回	平成30年 3月26日(月)	報告第1号 第3四半期監事監査結果報告について 報告第2号 理事長及び業務執行理事の業務執行報告、業績管理報告について 議案第1号 平成29年度 第二次補正予算(案)について 議案第2号 平成30年度 事業計画(案)について 議案第3号 平成30年度 収支予算案について 議案第4号 平成30年度 地域における公益的な取組み企画(案)について 議案第5号 法人規程の一部改正について 議案第6号 平成30年度建設等実行委員会継続について 議案第7号 法人施設長人事について 議案第8号 コンサル業者の平成29年度業務報告と平成30年度契約更新について	承認 承認 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決
第2回	平成30年 5月26日(土)	報告第1号 第4四半期監事監査結果報告について 報告第2号 理事長及び業務執行理事の業務執行報告、業績管理報告について 報告第3号 札幌市指導監査(書面指導監査)に対する実地指導の結果について	承認 承認 承認

		議案第1号 平成29年度 札幌報恩会事業報告について 議案第2号 平成29年度 札幌報恩会収支決算について 議案第3号 運営規程の一部改正について 議案第4号 法人規程の一部改正について 議案第5号 定款一部改正について 議案第6号 不動産登記における減免申請について 議案第7号 第1回定時評議員会の招集について 議案第8号 報恩碑の改修募金について	可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決
第3回	平成30年 8月25日(土)	報告第1号 第1四半期監事監査結果について 報告第2号 理事長及び業務執行理事の業務執行報告、業績管理報告について 報告第3号 札幌市指導監査の結果について 報告第4号 平成30年度 建設等実行委員会からの報告について 議案第1号 入札事案と建設等実行委員会への委嘱事項について 議案第2号 幌西ほうおんの定員増について 議案第3号 法人規程の一部改正について 議案第4号 運営規程の一部改正について 議案第5号 永年勤続表彰者の選出について 議案第6号 法人理念の制定について	承認 承認 承認 承認 可決 可決 可決 可決 可決 可決
第4回	平成30年 11月24日(土)	報告第1号 第2回(第2四半期)監事監査の結果について 報告第2号 理事長及び業務執行理事の業務執行報告、業績管理報告について 報告第3号 札幌市指導監査実施結果について 報告第4号 平成30年度 建設等実行委員会からの報告について 議案第1号 平成30年度 第一次補正予算(案)について 議案第2号 運営規程の一部改正について 議案第3号 法人規程の一部改正について 議案第4号 今後の建設等実行委員会への委嘱事項について	承認 承認 承認 承認 可決 可決 可決 可決
第1回	平成31年 2月 16日(土)	報告第1号 第3回(第3四半期)監事監査の結果について 報告第2号 理事長及び業務執行理事の業務執行報告、業績管理報告について 報告第3号 創立100周年記念事業収支報告について 議案第1号 評議員欠員における新候補者の推薦について 議案第2号 処遇改善手当及び期末賞与の支給について 議案第3号 2019年度法人管理職の人事異動及び任命について 議案第4号 北洋銀行との取引について	承認 承認 承認 可決 可決 可決 可決
第2回	平成31年 3月 23日(土)	報告第1号 評議員選任委員会からの報告について 議案第1号 平成30年度 第二次補正予算(案)について 議案第2号 2019年度 事業計画(案)について 議案第3号 2019年度 各拠点区分当初予算(案)について 議案第4号 2019年度 地域における公益的な取組み企画(案)について 議案第5号 法人規程の一部改正について 議案第6号 2019年度建設事業等実行委員会継続について	承認 可決 可決 可決 可決 可決 可決

		議案第7号 コンサル業者の2018年度業務報告と2019年度契約更新について	可決
--	--	--	----

②評議員会の開催

開催回	開催年月日	審議事項	
第1回	平成30年 6月23日(土)	報告第1号 第4四半期監事監査結果報告について 報告第2号 理事長及び業務執行理事の業務執行報告、業績管理報告について 報告第3号 札幌市指導監査(書面指導監査)に対する実地指導の結果について 議案第1号 平成29年度 札幌報恩会事業報告について 議案第2号 平成29年度 札幌報恩会収支決算について 議案第3号 社会福祉充実残額の算定結果について 議案第4号 地域における公益的な取組企画について 議案第5号 定款一部改正について 議案第6号 不動産登記における減免申請について	承認 承認 承認 可決 可決 可決 可決 可決 可決

③監事監査の実施

第1回	平成30年8月22日(水) (4月から6月分)	1 小口現金の実査 2 預金残高の確認
第2回	平成30年11月14日(水) (4月から9月分)	3 会計処理(第1から4四半期) 4 予算執行状況確認
第3回	平成31年2月13日(水) (4月～12月分)	5 法人運営関係確認 6 決算作業(第4回)
第4回	2019年5月27日(月) (決算)	

(8)新人及び中途採用試験結果(合格者)、退職者推移

<正職員>

平成30年

- ・10/6 採用試験実施 3名 (男性3名)内定
- ・12/6 採用試験実施 1名 (男性1名)内定
- ・12/15 採用試験実施 4名 (男性2名、女性2名)内定

平成31年

- ・1/8 採用試験実施 1名 (女性1名)内定
- ・1/26 採用試験実施 2名 (女性2名)内定
- ・1/31 採用試験実施 1名 (女性1名)内定

- ・2/14 採用試験実施 1名 (女性1名)内定
- ・3/12 採用試験実施 1名 (女性1名)内定
- ・3/22 採用試験実施 1名 (男性1名)内定
- ・3/25 採用試験実施 1名 (女性1名)内定
- ・3/26 採用試験実施 1名 (男性1名)内定

(男性 8名、女性 9名、計 17名)

<中途(有期契約)、パート採用>

平成30年

- ・4月:正職2名(報恩1名、ワーク1名)
- ・5月:正職1名(報恩)、臨職1名(グリーン)
- ・6月:臨職1名(グリーン)、パート2名(報1名、ホープス1名)
- ・7月:パート1名(くるみ)
- ・8月:パート3名(の夜1名、くる夜2名)、A型1名
- ・9月:パート1名(ワーク)
- ・10月:パート2名(報恩1名、の夜2名)、A型1名
- ・11月:臨職1名(報恩)、パート1名(くるみ)

平成31年

- ・1月:臨職1名(ワーク)、パート1名(くるみ)
- ・2月:看護師1名(グリーン)
- ・3月:パート1名(くるみ)

(正職 3名、臨職 4名、パート 12名、A型 2名)

<退職者>

平成30年

- ・5月:正職1名(報恩)、パート2名(報恩)
- ・6月:パート1名(くるみ)
- ・7月:パート2名(くるみ)
- ・8月:正職1名(ワーク)、臨職2名(報恩)、パート3名(くるみ)
- ・9月:正職1名(サポ91)、パート1名(くるみ)
- ・10月:臨職1名(そよ風)
- ・11月:パート1名(くるみ)

平成31年

- ・1月:正職:1名(報恩)、パート2名(くるみ)
- ・2月:パート2名(くるみ)
- ・3月:正職 19名(報恩11名、グリーン3名、くるみ1名、まごころ4名)、

臨職 1 名(しんさっぽろ)、パート 2 名(くるみ)

(正職員 23 名、臨職 4 名、パート 15 名)

(9)避難訓練(時間は開始の時間)

<報恩学園>

- ・7 月 26 日 10 時 30 分 夜間検証訓練
- ・2019 年 3 月 13 日 10 時 00 分

<グリーンホーム・そよ風>

- ・6 月 5 日 13 時 00 分
- ・10 月 2 日 14 時 00 分 夜間検証訓練
- ・11 月 6 日 13 時 05 分
- ・2019 年 3 月 13 日 10 時 00 分

<ワークショップ上野幌>

- ・6 月 29 日 11 時 00 分
- ・10 月 31 日 11 時 00 分

<のぞみ寮>

- ・8 月 12 日 16 時 30 分

<ホープス>

- ・5 月 18 日 10 時 30 分
- ・7 月 9 日 11 時 00 分
- ・12 月 13 日 15 時 00 分
- ・2019 年 3 月 13 日 14 時 00 分

<幌西ほうおん>

- ・5 月 11 日 10 時 30 分
- ・7 月 31 日 10 時 30 分
- ・9 月 5 日 10 時 00 分
- ・2019 年 1 月 18 日 10 時 30 分

<くるみ寮>

- ・5 月 11 日 こぶし(19:30)、カメハウス(19:00)、セロリ(19:45)

- ・5月14日 オリーブハウス(18:57)、たんぽぽ(18:50)、ミントハウス(18:40)
トマト(19:11)
- ・5月15日 つくし(18:05)、どんぐり(17:45)、みつば(18:30)、
ひょうたん(19:06)
- ・5月16日 たまねぎ(18:00)、くるみ(18:30)、とんぼ(19:20)、
- ・5月19日 サテライト(19:10)
- ・5月22日 サテライト(19:00)
- ・5月26日 フルハウス(19:00)、ぶどうの家(18:30)
- ・6月12日 サテライト(19:00)
- ・7月6日 サテライト(19:20)、(19:40)、(19:50)、(19:30)
- ・7月10日 こぶし103(17:30)、(こぶし101.102(17:40)、
カメハウス(17:00)、セロリ(18:50)
- ・7月13日 オリーブ(18:00)、たんぽぽ(18:00)、ミントハウス(18:00)
- ・7月15日 ミントハウス(19:00)、オリーブ(20:00)
- ・7月16日 くるみ(17:10)、すみれ(19:15)、ひょうたん(19:20)、
どんぐり(19:00)、フルハウス(18:50)、トマト(19:30)
- ・7月17日 とんぼ(19:45)、たまねぎ(19:25)、ぶどう(19:35)、
たんぽぽ(19:50)
- ・8月18日 つくし(19:00)、みつば(19:10)
- ・11月8日 くるみ(18:30)、すみれ(18:40)、たまねぎ(18:50)、
ぶどうの家(19:40)、たんぽぽ(19:30)、フルハウス(19:50)、
- ・11月10日 みつば(19:30)、カメハウス(19:50)
- ・11月12日 ミントハウス(19:00)、オリーブハウス(19:40)
- ・11月15日 どんぐり(19:00)、ひょうたん(19:20)、トマト(19:40)
- ・11月19日 こぶし(19:20)、サテライト(19:40)、(19:50)、つくし(19:00)、
セロリ(19:10)
- ・11月26日 とんぼ(19:10)、こぶし(16:30)
- ・12月8日 サテライト(19:45)
- ・12月9日 サテライト(19:45)
- 平成31年
- ・3月26日 オリーブ(15:45)

<まごころ保育園>

・毎月第2週木曜日 実施

(10)法人研修

平成30年4月25日	安全運転講習会	共栄火災海上保険株式会社
5月25日	アンガーマネジメント研修①	一般社団法人日本アンガーマネジメント協会
5月30日	中期経営計画について	法人
6月7日	救急救命講習	札幌市防災協会より
6月12日	新任職員フォローアップ研修①	法人内部講師
6月27日	アンガーマネジメント研修②	一般社団法人日本アンガーマネジメント協会
7月11日	接遇向上研修	サッポロナビ合同会社 龍造寺氏
7月14日	四法人個別支援計画作成研修	法人関連
7月30日	ストレス、ハラスメントと言われない相談対応、注意、指導のポイント	札幌 CBT&EAP センター
8月7日	救急救命講習	札幌市防災協会より
8月11日	四法人研修会	法人
8月22日	さぼりと倶楽部研修「地域共生」	外部講師
9月4日	さぼりと倶楽部研修「意思決定支援」	外部講師
9月12日	防災研修会	法人
10月9日	新任職員フォローアップ研修②	法人内部講師
10月24日	合理的配慮研修	札幌市出前講座
11月7日	メンタルヘルス研修	札幌 CBT&EAP センター
11月13日	認知症サポーター研修防災研修	札幌市キャラバンメイトより
11月27日	介護技術研修①	日本医療大学より
12月5日	生活習慣病研修	全国健康保険協会北海道支部より保健師
12月14日	介護技術研修②	日本医療大学より
12月22日	四法人個別支援計画作成研修(中堅)	法人
平成31年2月7日	法人研修	法人
2月16日	四法人研修会	法人
2月27日	虐待防止伝達研修	法人内部講師
3月5日	事業所別発表	法人

(11)法人行事 関連

① 運動会

- ・ 実施日:平成 30 年 6 月 17 日
会 場:上野幌東小学校

② 報恩まつり

- ・ 実施日:平成 30 年 9 月 23 日
会 場:GH厚別駐車場及び交流ホームひまわり周辺

③ 通所体験教室「あうる」

- ・ 夏 季:平成 30 年 8 月 1 日～3 日
参加人数:6 名
会 場:地域交流ホームひまわり及び各事業所作業活動場所
- ・ 冬 季:平成31年 1 月 9 日～11 日
参加人数:5 名
会 場:地域交流ホームひまわり及び各事業所作業活動場所

④ 創立記念日

- ・ 実施日:平成 30 年 11 月 30 日
会 場:地域交流ホームひまわり
内 容:利用者、職員の出し物、琴城流大正琴「コスモス」、「楓会サークル」

⑤ 成人式

- ・ 実施日:平成31年 1 月 8 日
会 場 : 交流ホームひまわり
対象者:ワーク;2 名、ホープス;1 名、のぞみ寮利用者;3 名、
幌西ほうおん;4 名 合計 10 名
内 容 :写真撮影、記念品贈呈等 ※保護者参加、全事業所利用者
参加(選抜)

⑥ 参観日

- ・ 実施日:平成 30 年 5 月 13 日
会 場 :地域交流ホームひまわり
内 容 :全体会、作業参観等
- ・ 実施日:平成31年 2 月 24 日

会 場 : 地域交流ホームひまわり
 内 容 : 全体会、作業参観、アート展

⑦ 創立 100 周年記念事業

<内部祝賀会>

- ・ 8/29 報恩学園
- ・ 8/30 グリーンホーム厚別、そよ風
- ・ 8/31 ワークショップ上野幌
- ・ 9/15 幌西ほうおん
- ・ 9/28 まごころ保育園
- ・ 10/28 くるみ寮(同窓会)
- ・ 10/31 ホープス、サポート 91、新さつぼろ、ステーション 106

<外部祝賀会>

- ・ 10/13 パークホテルにて開催

(12) 職員厚生会 関連(h30.2.28 現在、会員数;262 名)

- ①本部より 20 万円助成
- ②厚生会係りによる行事企画及び慶弔関連の実施
- ③会議(第 1 回;h30.5、第 2 回;h30.10、第 3 回;h31.3)

(13) 経営コンサルタント(吉岡経営センター)実績

1. 職員研修

実施月	内 容	対象者
平成 30 年 4 月	接遇、ビジネスマナー研修	新人職員
平成 30 年 6 月	決算書の見方と業績管理体制の構築	幹部職員
平成 31 年 1 月	来期予算の組み立て方	幹部職員
平成 31 年 3 月	就業規則、人事労務研修	新人職員
平成 31 年 3 月	接遇、ビジネスマナー研修	新人職員

2. 会計監査

- ・平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月 毎月1回訪問

3. 預り金監査

実施日	内容
平成 30 年 11 月	監査内容は別途報告書

(14)地域貢献事業(取り組み状況)

事業(活動)名	実施関連	内容(時期等)
イベント開催 ・5/12 第4回「いい湯だな」	地域担当委員	グリーンホーム厚別の浴室開放、カラオケ等提供、参加費 100 円(地域の方 27 名参加)
・7/14 第5回「いい湯だな」	地域担当委員	グリーンホーム厚別の浴室開放、カラオケ等提供、参加費 100 円(地域の方 27 名参加)
・8 /5 「初心者のための陶芸教室」	地域担当委員	ワークショップ上野幌の窯業棟を開放、参加費大人 500・子供 250 円(地域の方大人 9 名子供 7 名参加)
・9/29 第6回「いい湯だな」	地域担当委員	グリーンホーム厚別の浴室開放、カラオケ等提供、参加費 100 円(地域の方 24 名参加)
・11/10 第7回「いい湯だな」	地域担当委員	グリーンホーム厚別の浴室開放、カラオケ等提供、参加費 100 円(地域の方 22 名参加)
・1/10 「新春カラオケ大会」	地域担当委員	カフェラベンダー・ポプリ開放、ゲーム・カラオケ等提供、参加費 100 円・子供無料(地域の方 大 16 名 子供 4 名参加)
・3 /9 第8回「いい湯だな」	地域担当委員	グリーンホーム厚別の浴室開放、カラオケ等提供、参加費 100 円(地域の方 25 名参加)
地域交流ホームの地域開放 ・上野幌中央第一町内役員会 ・支え合い活動委員会 ・グループホームいこいの家 役員会 ・太鼓の練習	本部事務局(窓口)	随時 随時 随時 随時 くすみ関係者

幌西ほうおん カフェ すみれ 幌西ほうおん 3 階(多目的活動室) 一部地域開放	幌西ほうおん 旭山体操サークル・リズム体操 伏見健康サークル・ヨガ	11:30~14:00(月~金) 4月~翌3月 来客数 2,665名 参加人数 2,660名
カフェ ラベンダー オープン		10:00~16:00(定休日:水曜日) 来客数 1,426名
上野幌中央第一町内会主催地域イベント(秋まつり)の参加	法人全体(人数限定)	中止(地震の関係)
上野幌中央第一町内会主催防災訓練参加 上野幌中央第一町内会主催公園清掃	法人全体(人数限定) 利用者参加	中止(地震の関係) 5月~11月:毎週
上野幌中央第一町内総会参列 上野幌友愛クラブ総会等参列 上野幌町内会総会等参列	本部事務局 統括管理者 統括管理者	4月、(法人より班長選出) 4月 4月
東小学校との交流会、 児童会館との交流会	札幌報恩学園、グリーンホーム厚別	10月23日 11月9日
近隣小中学校卒業・入学式参列	各施設長	3月、4月
東小学校との合同公園清掃 東小学校の法人見学会	法人全体 同	10月12日 7月
餅つき用具一式貸出し ・支え合い活動員会 ・近隣老人施設 テント貸出し ・近隣社福施設	本部事務局 グリーンホーム厚別	12月、1月 7月、8月
赤い羽根共同募金活動	各事業所(主に新人)	10月街頭募金参加、募金箱設置
札幌市自立支援協議会厚別区地域部会参加(幹事)	ホープス管理者	随時
札幌危険物安全協会参加 札幌防火管理者協議会参加	本部事務局	4月 5月
札幌裁判所補導委託事業	ワークショップ上野幌	2名受け入れ実績
特殊詐欺防止対策かもめタウン	法人本部	ゆうちょへ協賛
福祉除雪、草刈り、公園清掃	ホープス	4月~翌3月
ボランティア受け入れ		

・補修	上野幌第一町内会 つれづれ会、双葉会、 旭日町町内会、日赤厚 別分団、大谷地友和会	平成 30 年度 123 名
・報恩まつり		学生 4 名
・職場体験(上野幌中学校)		学生 8 名

(15)設備の改善(設備投資計画より)

(単位;千円)

事業所名	事業名	金額
本部	ラベンダー新築工事	181,731
	ラベンダー電話設置	2,044
	ラベンダー備品等	16,331
	cafe ラベンダー食器等	1,913
	スペースポプリ備品等	1,270
	交流ホームステージバトン設置	648
	周辺整備設計等	1,458
	フェンス及び門扉設置	8,488
	創立 100 周年記念事業	19,000
	給食ソフト更新	511
	福祉の森リプレイス	5,270
	パソコン追加	367
	勤怠システムバック	877
	cafe ガード手摺設置	324
	法人本部警備委託	209
	報恩碑改修	3,229
札幌報恩学園	居室修理	4,428
	コスモス軒天補修	864
	家電交換	735
	厨房機器交換	174
	パソコン関連	1,146
	LAN 配線張り替え	486
グリーンホーム厚別	貨物車輛購入	3,456
	ディルーム加湿器	19,224
	パソコン関連	1,735

	厨房機器交換	3,202
	シイタケハウス解体等工事	2,711
	LED 設置	566
ワークショップ上野幌	パソコン関連	330
	新規プロバイダー	107
	セキュリティ設置(おまかせサイバー)	158
	菓子工房壁改修	378
	厨房喚起ファン買い替え	1,987
	ガス機器更新	680
くるみ寮	パソコン関連	330
	くるみ・すみれ屋根・軒天改修	2,460
	駐車場仮設タラップ接地	421
	ミントハウススプリンクラー設置	3,780
のぞみ寮	エレベーター休止スイッチ取付	270
	パソコン関連	165
ホープス	パソコン関連	744
まごころ保育園	パソコン関連	289
	地下ピット改修+設計代	3,942
	加湿器設置	11,124
しんさつぼろ	パソコン関連	434
幌西ほうおん	カフェスミレ wi-Fi 設置	111
	セキュリティ設置(おまかせサイバー)	170
計		310,277

2. 各事業所 実績

【札幌報恩学園 概要】

— 施設入所支援・生活介護・短期入所 —

1. 支援目標(反省)

- 生活介護においては、利用者さまが自立した日常生活または社会生活ができるよう、入浴、排泄及び食事の介護、創作的な活動または生産活動、その他の便宜を適切かつ効果的に実施しました。
- 入所支援においては、主として夜間において入浴、排泄または食事の介護、生活等に関する相談及び助言その他の必要な日常生活上の支援活動を行いました。
- 短期入所、日中一時支援事業においては地域で暮らす方々の多様なニーズに、お応え出来るようたくさんの方々をお受けしました。

2. 利用者支援

(1)受け入れ目標

①知的障がい者、施設入所支援

入所利用者の定員	145名(入所契約者数 146名)
受け入れ目標(年間延べ)	51,158名 (146名×365日×0.96)
受け入れ実績	51,574名

②知的障がい者、生活介護

利用者の定員	145名 (生活介護契約者数 156名、うち在宅グループ 10名)
受け入れ目標(年間延べ)	41,124名 (156名×269日×0.98)
受け入れ実績	40,966名

③知的障がい者(児)短期入所事業

受け入れ枠 定員	5名
受け入れ目標(年間延べ)	1,113名
受け入れ実績	1,073名

④日中一時支援事業の受入れ

受け入れ枠 定員	6名
受け入れ目標(年間延べ)	60名
受け入れ実績	25名

(2)在籍実績

施設入所支援においては、51,158名の目標に対して、実数51,574名であり達成であった。生活介護においては、目標41,124名に対し、実数40,966名となり未達成であった。短期入所事業においても実数1,073名の利用、日中一時支援についても実数25名の利用にとどまり未達成となった。

【施設入所支援】

①利用者人数調

区 分	人 員		
	男	女	計
平成29年度から本年度への繰越人員	99	47	146
本年度中の入所者数	2	2	4
本年度中の利用者総数	101	49	150
本年度中の退所者数	2	1	3
差引本年度から平成31年度への繰越人員	99	48	147
創立以来の利用者総数(大正7年11月30日)	856	424	1,280

②月別人員調

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
契約者数	146	146	146	147	147	146	145	144	147	147	147	147	1,755
月平均 施設入所	141.7	140.1	142.1	142.3	138.5	141.5	141.2	140.2	142.0	139.8	143.6	142.9	141.3
入所	0	0	0	1	0	0	0	0	3	0	0	0	4
退所	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	3

③本年度入所利用者数調

男	女	計
2人	2人	4人

④本年度退所者調

理 由	男	女	計
家 庭 引 取	0	0	0
就 職	0	0	0
他 施設への変更	2	0	2
ケアホーム	0	0	0
死 亡	0	0	0
その他(入院退所)	0	1	1
計	2	1	3

⑤在籍者数調 (初日現在)

月 程度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
障害程度区分6	113	113	113	113	113	114	114	114	117	117	117	117	1,375
障害程度区分5	26	25	25	26	26	25	24	24	24	25	25	25	300
障害程度区分4	6	7	7	7	7	7	7	6	6	5	5	5	75
障害程度区分3	1	1	1	1	1								5
障害程度区分2													
障害程度区分1													
計	146	146	146	147	147	146	145	144	147	147	147	147	1,755

【生活介護】

①利用者人数調

区 分	人 員		
	男	女	計
平成 29 年度から本年度への繰越人員	104	53	157
本年度中の入所者数	2	1	3
本年度中の利用者総数	106	54	160
本年度中の退所者数	2	2	4
差引本年度から平成 31 年度への繰越人員	104	52	156
創立以来の利用者総数(大正 7 年 11 年 30 日)	861	428	1,289

②月別人員調

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
契約者数		157	157	157	158	157	156	155	154	156	156	156	156	1,875
月平均	生活介護	111.6	112.8	111.9	113.2	112.5	111.3	113.0	110.8	116.9	124.4	109.7	113.4	113.4
入所		0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	3
退所		0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	4

③本年度入所者調

理 由	男	女	計
他施設より	1	0	1
在宅者	1	1	2
高等養護学校卒業者	0	0	0
計	2	1	3

④本年度退所者調

理 由	男	女	計
家庭引取	0	1	1
就 職	0	0	0
他 施設への変更	2	0	2
ケアホーム	0	0	0
死 亡	0	1	1
その他(入院退所)	0	0	0
計	2	2	4

⑤在籍者数調 (初日現在)

程度 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
障害程度区分6	120	120	120	120	119	119	119	119	121	121	123	123	1,444
障害程度区分5	29	28	28	28	28	28	27	27	27	27	27	27	331
障害程度区分4	7	8	8	9	9	9	9	8	8	8	6	6	95
障害程度区分3	1	1	1	1	1								5
障害程度区分2													
障害程度区分1													
計	157	157	157	158	157	156	155	154	156	156	156	156	1,875

(3)利用者の日課

7:30	朝食
8:00	歯磨き
8:30	自由時間
10:00	日中活動
11:45	手洗い
12:00	昼食
12:30	歯磨き
13:00	日中活動 (入浴)
16:30	自由時間 (入浴)
17:30	夕食
18:00	歯磨き 洗面
18:30	自由時間
21:00	就寝

* 基本的に月曜から金曜日は毎日、日中活動、土曜日は月に2日から3日間、日中活動を行った。各ブロックの実態に合わせてながらできる限り規則的な生活を心掛けた。

(4)部門目標(反省)

<さくら>

1、利用者様の意思決定を基本とした支援を行おう。

毎月の重点目標や検討内容に基づいて事業を進めた。権利擁護の部分では、「入浴時の同性介助」について改善を図り、例年よりも同性介助率を上げたことなど、支援者個々で人権擁護に対する意識向上を図った。

2、快適で健康に暮らすことができる環境づくりをしよう。

感染症対策を始め、健康管理について毎月のケース会議で重点目標を挙げ、支援者間での共有を

図った。また、今年度の重点課題として「節水」を挙げ、洗濯機の使い方を始め、洗濯方法について周知を図り、節約に努めた。

3、転倒事故の防止を図ろう。

前年度起きた転倒事例を基に、重点目標、見守り時の注意点について毎月のケース会議で確認し、備品の配置、利用者様の過ごして頂く場所などの変更を行うことにより、転倒や躓きから大きな事故につながる事故を減らすことができた。

○年間行事報告

バス旅行に関しては、1グループは予定通りに行うことができたが、2グループは予定していた日程が地震直後と重なってしまったため、「温泉」や「さけのふるさと館」などに分散しての実施となったが、それぞれ参加された行先で喜んで頂くことができた。また、その他の行事に関しても、例年通り実施することができた。

<ポピー>

1、人権・意思決定支援に配慮した支援を目指そう。

ニーズを基に意思決定支援の取り組みを行った。職員間で支援を高め合う為、アンケートを実施し、話し合いやポスター等で周知した。

2、安心・安全に生活出来る環境を提供しよう。

加齢に伴う課題の検討では、アンケートを行い、歯磨き、嚥下、移乗等の研修を実施した。また服薬ファイル等の見直しを行った。ヒヤリハット分析・共有では、些細な事でもいつでも、記載できるように用紙をデイルームに設置し、毎朝、朝会で報告した。

3、活動の充実を図ろう。

創作班は、個別課題を行う事が出来た。冬季は足場が悪く、ほとんど行くことが出来なかった。園内レクも不定期ではあったが、全員が参加して行くことが出来た。外出は、公園等散策し身体を動かすことが出来た。今年度はブロック内ではピアノを購入し、職員が弾いたり、利用者の方も触れたりしながら、音楽を楽しむことが出来た。

○年間行事報告

外出行事はグループを細かく分けて実施し、安全に参加していただくことが出来た。来年度は、さらに楽しめる行先を検討していきたい。季節行事については、皆さん笑顔で参加されていた。

<ルピナス>

1、自閉症について学ぼう。

研修会や勉強会に参加し、冰山モデルを用いて問題行動を改善する為の手段を学び、実践に活かした。適切な支援グッズやスケジュールの提示方法を学ぶことが出来た。

2、利用者様の尊厳を守り、丁寧な支援を行いましょう。

虐待に抵触する行為について支援者間で共有認識を持った。日々の支援の振り返りを行い、権利擁

護の意識を向上できるよう努めた。

3、利用者様が健康で楽しく生活できる環境を提供しましょう。

全体的に掃除を行う時間に余裕が無く、時間的見直しが必要である。洗濯や掃除などで利用者様の支援が手薄にならないよう努めた。その他、歯磨き支援マニュアルを作成し、実践した結果歯科通院の頻度が減った。

○行事計画反省

ブロック行事については楽しく実施する事ができた。外出行事は小人数で実施したが、次年度は人数増やして企画をしたい。また、行事参加や行き先の選択なども含め利用者様の自己決定・自己選択を実現していく。

<らいらっく>

1、充実した日中活動・余暇を提供しよう。

各活動班で連携する事で、活動場所までの引率が上手にできた。リズム、音楽活動など利用者さんが楽しんで参加している様子が見られた。レクについては今後内容の充実が検討課題として挙げられる。

2、意思決定支援に配慮した支援を行おう。

外出や生活の場面において利用者様の選択の機会を尊重し支援に当たった。その様な場面が増える事で、職員の権利擁護に対する意識向上に繋がった。

3、利用者が安全で安心できる生活を提供しよう。

ヒヤリハットで出た事例を基に支援内容の検討を行う事が出来た。介護技術の再確認では、より具体的な事例を取り上げる事で、すぐに実践に活かす事が出来た。

○年間行事報告

意思決定支援の観点から利用者様に行きたい場所を選択してもらい、外出先を決めた。自ら決めたことで、楽しく参加出来た。

<ぼぶら>

1、健康管理に努めよう。

ブロック内の清掃は、不十分な面が見られた。「手洗いカード」を作成し利用することで、職員の意識付けに繋がった。また、医療情報シートの作成を行い、通院の際に活用することにより、健康面の情報が一目でわかるようになった。

2、余暇の充実を図ろう

週末外出については、利用者様や担当職員に希望を確認した。出来る限りご希望に添えるよう配慮したが、行き先がほぼ固定化されてしまった。デイルームにテレビとDVDを設置したことで、歩行以外にも楽しみが増えた様子だった。

3、安心して生活出来る環境を整えよう

毎月のケース会議でヒヤリハット報告を共有した。統一した支援を行う為、利用者様に関してのアンケートを取り、支援の検討した。しかし、職員が習得した情報や技術をケース会議で報告しあう事が少なく、不十分であった。

○年間行事報告

バス外出は、利用者様の希望などを考慮し2回に分けて実施した。貸し切りバスを利用しニセコ方面へのグループと、伊達時代村へのグループに分かれて実施し、それぞれ楽しい時間を過ごす事が出来た。

<あかしあ>

1. 利用者の意思を汲み取り、楽しんで行える余暇を提供しよう。

昼食付外出は、普段出かけることが難しい利用者様に対しても回数を増やすことができた。また、8月より休日入浴を開始し、余暇時間のバリエーションを増やした。各エリアに写真入りの予定表を貼り、日付を消していくことでいつ外出があるのかを知らせるように対応した。

2. 生活環境の見直しを図り、衛生的かつわかりやすい環境を整備しよう。

各エリア、支援員室、コスモスなどにチェック表を作成した。ケース会議の場で状況報告を行い、掃除の徹底を促すよう努めたが不十分だった。。

3. 自閉症スペクトラム障がいに対する理解を深めよう。

実践することにより構造化の技法を学ぶことが出来た。結果利用者様が理解しやすいシステムを生活・活動場面において活用する事が出来た。また、自閉症スペクトラムの7つの特性について作成し、日々の支援の振り返りにつながった。

○年間行事報告

バス外出は、参加が可能な利用者様を対象に企画、実施した。次年度においても同様な企画を実施できるように検討していきたい。その他の外出行事については、無理のない範囲で行い、利用者様も楽しんでいる様子が見られた。

<お日さま>

1. 日々の活動の中で意思決定できる環境を整え、達成感を持てる活動の提供をしよう。

個々の作業においては選択場面を意識し、支援を行った。季節に合わせた外活動、室内装飾に関してはスケジュールの遅れはあったが、利用者様の活動として定着させることが出来た。

2. 快適な活動場所を提供し、健康に過ごすことが出来るよう支援しよう。

都度話し合いを行い、活動に合わせた備品の配置換えを行うことが出来た。また感染症対策として食堂の椅子やテーブルなどの細かな掃除を意識して行うことで、感染の予防が出来た。

3. 転倒、怪我の防止に努めよう。

年間を通して怪我なく過ごすことが出来た。室内でのつまずきなどの小さなことをヒヤリハット防止に繋げることが出来なかった。職員個々の意識付けが必要だと再確認した。

○年間行事報告

バス外出を予定していたが地震停電の2日後を予定していたため、中止となった。その他の外出や行事については予定通り実施することができ、利用者様また保護者様が楽しんで参加している様子が見られた。

3. 職員の勤務状況

(1) 職員数、在籍数

施設長(管理者)	サービス管理責任者	生活支援員	事務員	栄養士	看護師	その他職員	協力医	心理・音楽療法士	合計	給食業務委託
1	4	(17) 80	4	2	1	(3) 1	(4)	(3)	(27) 93	(12) 5

※()は臨時職員、嘱託職員、パート職員、兼務職員 平成31年3月31日現在

(2) 職員の異動

新 任			退 任		
発令年月日	職 名	人 数	発令年月日	職 名	氏 名
30.4.1～	生活支援員等	18名	30.4.1～	生活支援員等	14名
グリーンホーム厚別からの異動			グリーンホーム厚別へ異動		
30.4.1	生活支援員	3名	31.3.31	生活支援員等	5名
ワークショップ上野幌からの異動			そよ風へ異動		
30.4.1	生活支援員	1名	31.3.31	施設長等	2名
ホープスからの異動			ワークショップ上野幌へ異動		
30.4.1	生活支援員	1名	31.3.31	事務員	1名
就業・生活相談室しんさっぽろからの異動			くるみ寮へ異動		
30.4.1	生活支援員	1名	31.3.31	生活支援員	1名
			サポート91へ異動		
			31.3.31	生活支援員	1名
			就業・生活相談室しんさっぽろへ異動		

			31.3.31	生活支援員	1名
--	--	--	---------	-------	----

(3)職員の研修

期 日	研 修 名	開催地	出席者
4/3	人事考課制度の実践法	札幌市	2名
4/11	人手不足時代における問題職員への対応策について	札幌市	2名
4/13~14、20~21	行動援護従事者養成研修	札幌市	1名
5/12	江別すずらん病院第10回記念講演会	江別市	1名
5/14~17	行動援護従事者養成研修	札幌市	2名
6/4~7	行動援護従事者養成研修	札幌市	2名
6/8	札幌危険物安全協会保安研修会	札幌市	2名
6/26	標準報酬算定研修会(株)ミロク情報サービス	札幌市	1名
6/27~28	強度行動障害支援者(基礎)養成研修	札幌市	1名
6/28	札幌市知的障がい福祉協会新任支援員研修会	札幌市	2名
7/2~3	全国知的障害関係施設長等会議	東京都	3名
7/2~5	行動援護従事者養成研修	札幌市	3名
7/4~5	北海道知的障がい関係支援員研修	札幌市	1名
7/9、10、25~27	相談支援従事者研修(基礎研修)	札幌市	1名
7/14	全道相談支援・地域支援職員研修会	札幌市	2名
7/14	個別支援計画研修(4法人研修)	北広島市	3名
7/16~19	行動援護従事者養成研修	札幌市	3名
7/20	メンター研修会	札幌市	1名
7/27	ニューパワー研修会	札幌市	8名
7/29	音楽療法公開講座	札幌市	1名
8/3	腰痛予防対策講習会	札幌市	1名
8/6	研修講座「ABCモデルの基本」	札幌市	2名
8/8	権利擁護セミナー	札幌市	3名
8/11	個別支援計画研修(4法人研修)	恵庭市	6名
8/14~17	行動援護従事者養成研修	札幌市	4名
8/20~23	行動援護従事者養成研修	札幌市	3名
8/21~22	看護師専門研修	札幌市	1名
8/29	福祉専門職・施設職員向けセミナー	札幌市	1名
8/30~31	強度行動障害支援者養成研修(実践)	札幌市	2名
8/31~9/1、7~8	行動援護従事者養成研修	札幌市	3名

9/3～6	行動援護従事者養成研修	札幌市	3名
9/3	社会福祉法人・社会福祉施設ブロック研修会	札幌市	7名
9/9	生命尊重を考える講演会	札幌市	1名
9/14	信頼を高めるクレーム・苦情対応セミナー	札幌市	1名
9/17～20	行動援護従事者養成研修	札幌市	3名
10/1～4	行動援護従事者養成研修	札幌市	2名
10/2	赤い羽根共同募金街頭募金活動	札幌市	3名
10/8	発達障がい理解促進啓発事業	札幌市	2名
10/9	ノロウイルス食中毒対策講習会	札幌市	1名
10/11～12	強度行動障害支援者養成研修(基礎)	札幌市	2名
10/15～18	行動援護従事者養成研修	札幌市	3名
10/17	全道知的障がい関係職員研究大会	札幌市	2名
10/17	社会保険事務講習会	札幌市	2名
10/18～19	相談支援従事者研修(サビ管向け)	札幌市	3名
10/27	個別支援計画研修(4法人研修)	恵庭市	5名
11/3	障害者差別解消法道民フォーラム	札幌市	2名
11/5～8	行動援護従事者養成研修	札幌市	3名
11/6	年金委員事務講習会	札幌市	2名
11/19～22	行動援護従事者養成研修	札幌市	4名
11/21	法人役員・施設長専門研修	札幌市	1名
11/22	栄養士専門研修	札幌市	1名
11/26	共済業務新任者研修	札幌市	3名
11/26	災害対策商材展示会	札幌市	1名
11/27	年末調整等説明会	札幌市	6名
11/28	加齢化支援研修	札幌市	2名
11/29	障害者総合支援法に基づく集団指導	札幌市	2名
12/3	ゲートキーパー研修会	札幌市	1名
12/3～6	行動援護従事者養成研修	札幌市	4名
12/5	第8回厚別区事業所交流会	札幌市	3名
12/5	年末調整システム研修会(実践編)	札幌市	2名
12/5、6、7、 12、13、18	札幌市障害福祉サービス事業所管理者等研修	札幌市	3名
12/6～7	北海道障がい者虐待防止・権利擁護研修	札幌市	1名
12/7～8、14～15	行動援護従事者養成研修	札幌市	2名

12/10	北海道知的障がい関係支援員初任者研修	札幌市	1名
12/10~13	行動援護従事者養成研修	札幌市	5名
12/12	日中活動支援部会職員研修	札幌市	1名
12/12	吉岡経営センターのセミナー	札幌市	5名
12/17	北海道受動喫煙ゼロ普及説明会	札幌市	1名
12/18	生活困窮者等に対する安心サポート事業	札幌市	3名
12/20	上野幌中学校開校 30 周年記念	札幌市	2名
12/20	共生社会フォーラム	札幌市	1名
12/22	個別支援計画研修(4 法人研修)	札幌市	5名
1/12	発達障がい講座ライフステージごとの支援	札幌市	2名
1/16	幹部職員研修会	札幌市	3名
1/21~24	行動援護従事者養成研修	札幌市	2名
1/22	社会福祉法人実務者決算・財務分析講座	札幌市	6名
1/30	北海道介護ロボットフォーラム	札幌市	1名
1/30	避難確保計画作成セミナー	札幌市	1名
2/2	強度行動障がいの最前線	札幌市	2名
2/4~7	行動援護従事者養成研修	札幌市	2名
2/14	社会福祉法人経営実務セミナー	札幌市	9名
2/15	札幌市知的障がい福祉協会職員研修会	札幌市	1名
2/19	パートタイム・有期雇用労働法等説明会	札幌市	2名
2/26	サービス管理責任者養成研修(第 3 地域)	札幌市	1名
2/28	厚別区で垣根のない支援を考える(厚別区地域部会)	札幌市	1名
3/4~7	行動援護従事者養成研修	札幌市	1名
3/5	自閉症児・者のライフステージに合わせた支援について	小樽市	2名
3/15	災害対策(振り返り)研修会	札幌市	1名
3/23	自閉症スペクトラムピックセミナー in 旭川	札幌市	1名

(4)勤務時間

・勤務時間帯は現状で特に問題は無かった。夜間においてもバックアップ職員が2名多く配置されていることにより、利用者様の状態に合わせた対応を行う事が出来た。今後も必要に応じた対応を行っていく。

(5)諸会議

・定例の会議については、ほぼ予定通り実施する事が出来た。

【グリーンホーム厚別 概要】

— 施設入所支援・生活介護・短期入所 —

1. 支援目標(反省)

- 生活介護においては、利用者さまが自立した日常生活または社会生活ができるよう、入浴、排せつ、及び食事介助、生産活動及び創作的な活動、その他の便宜を適切かつ効果的に行いました。
- 施設入所支援においては、主として夜間においての安全に配慮し生活全般において、相談及び助言その他の必要と思われる日常生活の支援活動を行いました。
- 短期入所、日中一時支援事業においては、自他法人等問わず、地域で暮らす方々の多様なニーズにお応えし、積極的に受けました。

2. 利用者支援

(1)受け入れ目標

①知的障がい者、施設入所支援

入所利用者の定員	60名(入所契約数 63名)
受け入れ目標(年間延べ)	22,305名 (63人×365日×0.97)
受け入れ実績	20,772名

②知的障がい者、生活介護

利用者の定員	60名(生活介護契約数 70名)
受け入れ目標(年間延べ)	18,265名 (70人×269日×0.97)
受け入れ実績	17,075名

③ 知的障がい児(者)の短期入所の受け入れ

一日の受け入れ枠	6名
年間延べ	1,460名
受け入れ実績	1,046名

④知的障がい児(者)日中一時支援事業

一日の受け入れ枠	10名
年間延べ	60名
受け入れ実績	51名

(2)在籍実績

施設入所支援においては、22,366名の目標に対して実数は20,772名でした。目標数値は未達成でした。生活介護においても、実数17,075名の利用で未達成でした。施設入所支援においても生活介護においても年度始めから長期の入院者が常時2～3名程いたことなどが考えられます。短期入所事業においては、実数1,046名の利用で未達成でした。日中一時支援は60名を目標としていましたが、実数51名で未達成でした。通所体験教室『あうる』の利用者で『あうる』は夏冬休みの年2回実施しましたが、どちらも定員に満たなかったことが原因と考えられます。また日中一時支援よりは、短期入所利用を希望する方が多いのが現状です。

[施設入所支援]

①利用者人員調べ

区 分	人 員		
	男	女	計
平成29年度から本年度への繰越人員	35	26	61
本年度中の入所者数	1	0	1
本年度の利用者総数	36	26	62
本年度中の退所者数	1	1	2
差引本年度から平成31年度への繰越人員数	35	25	60
創立(S51.6.1.)以来の利用者総数	119	99	218

②利用者月別人員調

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
契約者	61	61	60	60	60	60	60	61	60	60	60	60	723
月平均	58.1	57.5	58.0	58.5	55.5	57.7	57.3	59.4	55.7	54.2	55.5	55.5	57.9
入所	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
退所	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2

③本年度入所者数調

男	女	計
1人	0人	1人

④本年度退所者調

理 由	男	女	計
家庭引取	0	0	0
地域生活への切替(グループホーム)	0	0	0
他施設へ異動(医療機関へ)	1	0	1
死 亡	0	1	1
その他	0	0	0
計	1	1	2

⑤在所利用者 区分別調(月初日)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
区分6	34	34	33	34	34	34	35	35	34	34	34	34	409
区分5	26	26	26	25	25	25	24	24	24	24	24	24	297
区分4	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	17
区分3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	61	61	60	60	60	60	60	61	60	60	60	60	723

[生活介護]

①利用者人員調

区 分	人 員		
	男	女	計
平成 29 年度からの繰越人員	40	27	67
本年度中の入所者数	1	0	1
本年度の利用者総数	41	27	68
本年度中の退所者数	1	1	2
差引本年度から平成 31 年度への繰越人員	40	26	66
S51. 6. 1 以来の利用者総数	122	100	222

平成 23 年度から通所部は生活介護事業所グリーンホーム厚別に統合。

②利用者月別人員調

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
契約者数	67	67	66	66	66	66	66	67	66	66	66	66	795
月平均	47.4	47.8	47.6	47.5	47.0	46.6	47.4	48.2	48.9	52.4	44.6	45.7	47.6
入所	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
退所	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2

③本年度入所者調

理由区分	男	女	計
他の施設より	1	0	1
在宅者	0	0	0
高等養護学校卒業者	0	0	0
計	1	0	1

④本年度退所者調

理由区分	男	女	計
家庭引取	0	0	0
地域生活への切替(グループホーム)	0	0	0
他施設への異動	1	0	1
死亡	0	1	1
その他	0	0	0
計	1	1	2

⑤在籍利用者 区分別調(月初日)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
区分6	34	34	33	34	34	34	35	35	34	34	34	34	409
区分5	27	27	27	26	26	26	25	25	25	25	24	24	307
区分4	5	5	5	6	6	6	6	7	7	7	8	8	76
区分3	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	67	67	66	66	66	66	66	67	66	66	66	66	795

(3)利用者の日課

6:30～	起床、着衣、洗面等
7:00～	掃除
7:30～	朝食
8:00～	歯磨き
9:00～	自由時間
10:00～	日中活動(作業)
12:00～	昼食・歯磨き
13:00～	日中活動(作業)
16:30～	入浴・自由時間
17:30～	夕食
18:00～	歯磨き・洗面
19:00～	自由時間・夜間入浴(希望者)
22:00～	消灯

(4)部門目標(反省)

【生活部門】

余暇時間を活用し、地域の社会資源を活用していく取り組みを行うことができました。余暇の内容を充実することによって、利用者さまがより楽しく生活できるよう「意思決定支援」を意識し、支援にあたりました。今後も利用者さまのご希望に沿った計画を立て、支援にあたります。また、グルーホームの見学等、地域移行に向けた取り組みも行うことができました。人権擁護の視点から、加齢に伴う重度化、ならびに行動障害に対するチームとしての支援の質の向上も欠かせないと考えます。

<すずらん>

加齢に伴うケガや疾病での入院や身体能力の低下に伴う ADL 低下、行動障害によるケガ等も見られましたが、利用者さまの一人ひとりの意思決定を尊重し、大切に支援にあたりました。

<はまなす>

すずらん同様利用者さまの加齢化への取り組みを行いました。又、疾患や興奮、他害等による入院も見られましたが、職員間で支援の質の向上を図り、皆さまが穏やかで安全に生活を送ることができるよう支援にあたりました。

【日中活動部門】

各活動班においては、それぞれの活動班の役割を明確にし、健康面・衛生面に配慮した活動内容を検討し、活動内容の見直しや活動班同士の連携はもちろん、生活部門とも協力し、利用者さまの「意思決定」を尊重した活動支援を展開しました。

(5) 行事報告

実施日	行事	実施場所	参加者数
7月4～5日 7月18～19日	一泊旅行	登別方面 小樽・定山溪方面	58名
8月14日	花火大会	グリーンホーム駐車場	41名
10月1日、3日、10日 17日、24日、25日、31日	慰安外出	円山動物園、グリーンランド (岩見沢)、定山溪方面、 支笏湖方面、千歳空港	59名
11月22日	勤労感謝の会	グリーンホーム食堂	62名
12月25日	クリスマス会	グリーンホーム食堂	59名
1月9日	年賀状抽選会	グリーンホーム食堂	62名
2月1日	豆まき	各寮内	63名

3. 職員の勤務状況

(1) 職員数、在籍者数

施設長	サービス管理責任者	生活支援員	事務員	看護師	栄養士	その他の職員	合計	給食業務委託	
								及び契約 パート職員	栄養士他
1	2	(7) 30	2	1	1	(1)	(8) 37	(8)	(1)

※()は臨時職員、嘱託職員、パート職員、兼務職員 平成31年3月31日現在

(2)月別職員在籍数

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
施設長	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
サービス管理責任者	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
生活支援員	30 (6)	30 (6)	30 (6)	30 (7)	30 (7)	30 (7)	30 (7)	30 (7)	30 (7)	30 (7)	30 (7)	30 (7)
その他の職員	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)
看護師	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
栄養士	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
事務員	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
協力医	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)

(3)職員の異動

新 任			退 任		
発令年月日	職 名	人 数	発令年月日	職 名	人 数
30.4.1～	生活支援員等	6名	31.3.31	生活支援員等	3名
札幌報恩学園からの異動			札幌報恩学園へ異動		
30.4.1	生活支援員	4名	31.3.31	生活支援員	1名
ホープスからの異動			ワークショップ上野幌へ異動		
30.4.1	生活支援員	1名	31.3.31	生活支援員	1名
			くるみ寮へ異動		
			31.3.31	生活支援員	3名
			のぞみ寮へ異動		
			31.3.31	生活支援員	1名
			まごころ保育園へ異動		
			31.3.31	事務員	1名
			新さっぽろ・ステーション106へ異動		
			31.3.31	管理者	1名

(4)職員の研修

期 日	研 修 名	開催地	出 席 者
・4/3	職員の成長を促す人事考課制度の実践法	札幌市	1名
・4/6～7	北海道テンパック会第26回定期総会研修会	札幌市	1名
・4/11	会計・労務セミナー	札幌市	2名
・4/16～19	北海道行動援護従事者養成研修	札幌市	3名
・4/19	平成30年度 緊急セミナー社会福祉法人会計実務者決算・財務分析講座	札幌市	1名
・5/14～17	北海道行動援護従事者養成研修	札幌市	3名
・5/17	うつ病等、私疾病休職後のトラブル予防の注意点・職場内の労災、ストレスに起因する精神疾患に関する使用者の法的責任と損害賠償額	札幌市	1名
・5/21～24	北海道行動援護従事者養成研修	札幌市	3名
・5/21	平成30年度 全道施設長セミナー	札幌市	2名
・5/25	平成30年度定期総会	札幌市	2名
・6/4～7	北海道行動援護従事者養成研修	札幌市	3名
・6/5	安全運転講習会	札幌市	1名
・6/18～21	北海道行動援護従事者養成研修	札幌市	3名
・6/28	平成30年度札幌市知的障がい福祉協会 新任支援員研修会	札幌市	1名
・7/2	平成30年度社会福祉法人経営者セミナー	札幌市	1名
・7/2～5	北海道行動援護従事者養成研修	札幌市	1名
・7/4～5	平成30年度北海道知的障がい関係支援員研修	札幌市	1名
・7/7～10 H31 2/16～19	第43期福祉施設長専門講座	札幌市	1名
・7/23	平成30年度施設職員スキルアップ講座	札幌市	3名
・7/28	平成30年度ニューパワーセミナー	札幌市	3名
・8/8	平成30年度権利擁護セミナー	札幌市	3名

・8/6～7	第40回全国福祉施設士セミナー参加について	札幌市	1名
・8/11	個別支援計画作成研修報告会	恵庭市	3名
・8/21～22	平成30年度看護師専門研修	札幌市	1名
・9/3	平成30年度社会福祉法人社会福祉施設ブロック研修会	札幌市	1名
・9/18～19	平成30年度日中活動支援部会職員研修会	札幌市	3名
・9/15	全国障害者問題研究会北海道支部第40回学習会	江別市	1名
・9/20～21	全国社会福祉法人経営者大会	長野県	1名
・9/29	教師と支援者、保護者のための特別公開講座(自閉症スペクトラムを考える)	札幌市	2名
・10/1～4	北海道行動援護従事者養成研修	札幌市	1名
10/6.17.25.11/1.10.17.21 12/1.2	介護福祉士実務者研修	札幌市	3名
・10/18～19	平成30年度相談支援従事者研修(サビ管向け)	札幌市	1名
・10/27	個別支援計画作成研修	札幌市	3名
・11/10	第4回福祉法人経営学会大会	東京都	1名
・11/14	椎茸栽培研修	札幌市	2名
・11/21	平成30年度法人役員・施設長向け研修	札幌市	2名
・11/22	栄養士専門研修	札幌市	1名
・11/28	加齢化支援研修	札幌市	2名
・11/27.29	札幌市障害福祉サービス事業所管理者等研修	札幌市	2名
・12/5	第8回厚別区事業所交流会	札幌市	2名
・12/5	第10回ご近所野菜交流会		
・12/3.11.17.	平成30年度障がい者支援員養成研修	札幌市	2名
・12/6～7	平成30年度北海道障がい者虐待防止・権利擁護研修	札幌市	1名
・12/10～11	北海道知的障がい関係支援員初任者研修	札幌市	3名

・12/12.18	札幌市障害福祉サービス事業所管理者等研修	札幌市	2名
・12/17	北海道受動喫煙ゼロ普及啓発説明会	札幌市	1名
・12/21	ストレスを減らすコツ	札幌市	2名
・12/22	第4回個別支援計画作成研修	札幌市	2名
・1/16～17	平成30年度幹部職員研修会	札幌市	2名
・1/18	社会福祉法人の予算策定・決算処理の実務解説	千歳市	1名
・1/22	平成30年度社会福祉法人会計実務者決算・財務分析講座	札幌市	3名
・1/25	全道グループホーム等スタッフ研修会	札幌市	2名
・1/30～31	平成30年度障害者支援施設部会全国大会	岩手	2名
・2/19～20	平成30年度相談従事者研修(基礎研修)	札幌市	1名
・2/21～22	平成30年度全道施設長研修会	札幌市	2名
・2/15	札幌市知的障がい福祉協会職員研修会	札幌市	3名
・2/16	個別支援計画作成研修	千歳市	2名
・2/26～28	平成30年度北海道サービス管理責任者研修	札幌市	1名
・2/27	福祉施設職員内定者向け合同オリエンテーション	札幌市	2名
・2/28	厚別区で垣根のない支援を考える⑨	札幌市	1名
・3/6～7	第59回北海道福祉施設士会ブロックセミナー	札幌市	2名
・3/5	自閉症児・者のライフステージに合わせた支援について	札幌市	1名
・3/15	災害対策(振り返り)研修会	札幌市	1名
・3/23～24	平成30年度自閉症スペクトラムトピックセミナー	旭川市	1名

(5)勤務時間

利用者さまの状況や通院の状況に応じて弾力的かつ柔軟に対応できました。今後
も必要に応じた対応を行っていきます。

(6)諸会議

定例の会議については、予定通り実施することが出来ました。必要に応じ、随時
臨時の会議を設け、対応してきました。会議で検討された内容は迅速に実施し、そ
の都度進捗状況を報告してもらっています。研修においても予定通り実施できまし
た。

【そよ風 概要】

— 生活介護 —

1. 支援目標の反省

○食事や入浴、排せつ等の介護および日常生活上の支援を提供し、かつ創作的活動または生産活動の機会を適切、効率的にとりいれ、利用者の自立促進、生活の質の向上に努めました。

2. 利用者支援

(1)受け入れ目標

利用定員 20名(利用契約数 28名)

受け入れ目標(年間延べ) 5,380名 (20名×269日)を目標とする。

(日曜日と冬休みの5日間以外は開所する。)

受け入れ実績 5,596名

(2)在籍実績

利用人員目標を 5,380名としており、実数が5,596名と達成できました。

① 人数調べ

区 分	人 員		
	男	女	計
平成29年度から本年度への繰越人員	14	12	26
本年度中の契約者数	1	0	1
本年度の契約者総数	15	12	27

②利用者月別人員調

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
契約者数	28	28	27	27	26	26	26	26	26	26	26	25	312
月平均	19	19	18.1	18.6	18.1	18.2	18.2	17.9	18.3	18.2	17.9	17.8	18.1
平均区分	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
開所日数	25	27	26	26	27	26	26	26	25	24	24	27	309

③本年度入所者数

理 由 区 分	男	女	計
他の通所施設より	0	0	0
在宅者	0	0	0
高等養護学校卒業者	1	0	1
計	0	0	0

④本年度退所者数

理 由 区 分	男	女	計
他施設へ	1	1	2
就労	0	0	0
家庭	0	0	0
死亡	0	0	0
計	1	1	2

⑤在籍者数

	開所日数 (日)	現員数 (人)	延べ 利用者数(人)	原則日数 ×定員数	定員超過利用減算 に関わる利用率	平均 利用者数
4月	25	28	474	500	94.8%	19.0
5月	27	28	512	540	94.8%	19.0
6月	26	27	471	520	90.6%	18.1
7月	26	27	484	520	93.1%	18.6
8月	27	26	489	540	90.6%	18.1
9月	26	26	472	520	90.8%	18.2
10月	26	26	472	520	90.8%	18.2
11月	26	26	466	520	89.6%	17.9
12月	25	26	458	500	91.6%	18.3
1月	24	26	436	480	90.8%	18.2
2月	24	26	430	480	89.6%	17.9
3月	27	25	481	540	89.1%	17.8
計	309	312	5,596	6,180	90.6%	18.1

(3)日課表

9:30～	登園、視診、ミーティング
10:00～	設定活動、個別活動
11:45～	昼食、歯磨き、休憩
13:00～	個別活動
14:00～	全体活動
15:00～	おやつ(水分補給)
15:30～	帰宅準備
16:00～	帰宅

(4)事業所目標の反省

昨年度より実施してきたそよサタの見直しや外出行事の拡大、さらには、クッキング等、日中活動の見直しも図ってきました。今後もマンネリ化しないよう工夫が必要と考えています。また、個々の利用者さまの障がい特性を理解し、日中のみならず、将来を見据えた生活の安定に向けての取り組みを、今のうちから少しずつでも始めていきたいと考えています。

(5)行事報告

実施日	行 事	実施場所	参加者数
5月31日	かたるべ	札幌ドーム	3名
8月18日	夏まつり	そよ風ライトコート	14名
7月3・18日・8月31日	バス外出	北海道グリーンランド	17名
12月22日	クリスマス会	そよ風ホール	15名
1月4日	新年会	そよ風ホール	19名
2月2日	節分	そよ風ホール	13名
2月26日	スポーツ遊び体験事業	ばんけいスキー場	1名
3月2日	ひなまつり	そよ風ホール	15名
3月30日	おたのしみ会	そよ風ホール	15名

2. 職員の勤務状況

(1) 職員数、在籍者数

管理者	サービス管理責任者	生活支援員	事務員	看護師	協力医
(1)	1	(2) 10	(1)	(1)	(1)

※()は臨時職員、嘱託職員、パート職員、兼務職員

平成 31 年 3 月 31 日現在

* 月別在籍者数

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
管理者	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
サービス管理責任者	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
生活支援員	10 (2)	10 (2)	10 (2)	10 (2)	10 (2)	10 (2)	10 (2)	10 (2)	10 (2)	10 (2)	10 (2)	10 (2)
看護師	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)
栄養士	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)
事務員	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)
医師	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)

(2) 職員の退職数

新 任			退 任		
発令年月日	職 名	人 数	発令年月日	職 名	人 数
-	-	-	30.10.31	生活支援員	1名
札幌報恩学園からの異動			札幌報恩学園へ異動		
30.4.1	生活支援員	2名	31.3.31	生活支援員	1名
札幌報恩学園からの異動			グリーンホーム厚別へ異動		
30.4.1	管理者	1名	31.3.31	生活支援員	1名
			新札幌へ異動		
			31.3.31	生活支援員	1名

(3) 研修調べ

グリーンホーム厚別と合同

(4) 勤務時間

昨年度同様、送迎の関係で変則勤務になっていますが、状況に合わせて柔軟に対応しました。冬の送迎に関しては冬時間を設定し無理なく行うことが出来ました。年間を通し大きな事故もなく無事に送迎業務を行うことができました。その他、有給休暇の取り方について、今後、調整等が必要と考えます。

(5) 諸会議

定例の会議については予定通り実施できました。研修についても予定通り行いました。その他、研修受講者からの伝達の機会や構造化の見直し等、ケース検討会議も積極的に行いました。会議の内容を精査し合理的に実施できるよう今後も検討していきたいと思っています。

【ワークショップ上野幌 概要】

— 生活介護・就労継続支援A・就労継続支援B～多機能型 —

1.支援目標(反省)

- 利用者様の自立と地域生活を支えるための、日中活動の場の提供を行いました。
- 個々の能力、状態に応じた支援により働く喜びを体験してもらい、一般就労が意識できるよう社会自立の促進をサポートしました。

2.利用者支援

(1)受入目標 14,000名(達成率:104.2%)

生活介護定員 20名(契約数 26名) ⇒年間延べ利用者数:6,383名
 就労継続支援B型定員 20名(契約数 24名)⇒年間延べ利用者数:5,648名
 就労継続支援A型定員 10名(契約数 11名)⇒年間延べ利用者数:2,561名
 合計 14,592名

(2)在籍実績

区 分	人 員
平成 29 年度から本年度への繰越人員	58 名
平成 30 年度中の入所者数	4 名
平成 30 年度の利用者総数	62 名
平成 30 年度中の退所者数	2 名
平成 13 年 4 月 1 日開所以来の利用者数	90 名

① 利用者月別人員調べ

■生活介護事業所

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実員数	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	312
延べ人数	494	551	549	565	556	494	545	545	553	479	489	563	6383
開所日数	25	27	26	26	27	26	27	26	26	24	24	26	310
月平均	19.8	20.4	21.1	21.7	20.6	19.0	20.2	21.0	21.3	20.0	20.4	21.7	20.6
入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

■就労継続支援 B 型事業所

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実員数	23	23	23	23	23	23	24	25	24	24	24	24	283
延べ人数	443	468	439	440	461	430	510	513	502	514	438	490	5648
開所日数	25	27	26	26	27	26	27	26	26	24	24	26	310
月平均	17.7	17.3	16.9	16.9	17.1	16.5	18.9	19.7	19.3	21.4	18.3	18.8	18.2
入所	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
退所	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2

■就労継続支援 A 型事業所

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実員数	9	9	9	9	10	10	11	11	11	11	11	11	122
延べ人数	192	192	192	197	202	185	229	232	247	238	210	245	2561
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	28	28	31	362
月平均	6.4	6.2	6.4	6.4	6.5	6.2	7.4	7.7	8.0	8.5	7.5	7.9	7.1
入所	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2
退所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

②本年度退所者調べ

	男 性	女 性	合 計
他事業所へ	2	0	2
家 庭	0	0	0
就 職	0	0	0
計	2	0	2

③本年度入所者調べ

理 由	男 性	女 性	計
他事業所から	2	1	3
家庭から	0	0	0
その他	1	0	1
計	3	1	4

④在籍数、程度別調べ

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
区分6	5	5	5	5	6	6	6	6	6	6	5	5	66
区分5	12	12	12	12	11	11	14	15	15	15	17	17	163
区分4	24	24	24	24	24	24	22	21	21	21	21	21	271
区分3	15	15	15	15	16	16	16	16	16	16	15	15	186
区分2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	5
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未実施	2	2	2	2	2	2	3	3	2	2	2	2	26
計	58	58	58	58	59	59	61	62	61	61	61	61	717

(3)利用者日課表

生活介護・就労継続支援B型

就労継続支援A型

9:00	出勤	8:00	出勤	時間内 4時間から 7時間の 就労 (シフト制)		
9:30	朝会					
9:35	生産・日中活動開始					
10:50	休憩					
11:00	活動再開					
12:00	昼食・休憩					
13:00	活動再開					
14:45	コーヒータイム					
15:00	活動再開					
16:00	活動終了					
16:30	退勤				18:00	退勤

(4)部門目標(反省)

生活介護事業所

・健康的で楽しめる活動と利用者さまの能力を発揮・維持できる作業を提供します。

⇒個人の能力を把握し、作業的活動では委託加工科と連携して技術習得できた利用者が数名いた。また、余暇的活動では興味や趣味を把握して活動へつなげていき、ダンス・音楽活動・創作活動へ取り組めた。

・利用者さまの生活しやすいように合理的配慮の支援をします。

⇒視覚障がいを持った利用者様への支援として、自分の居場所がわかる配慮を行い、移動や場所の判別がつきやすくなり、安心できる生活の提供ができた。

就労継続支援(B型)

・月額工賃の増額を目指すために新規事業の展開と利用者さまの技術向上の支援・より良い製品をお客様・業者様に届けられるように努めます。

⇒新規事業の展開はできなかったが、委託部門では、糊付け等の作業技術を習得できた利用者様が増えて、高単価な作業を受ける事ができた。手芸部門では編み物の技術が向上し、知育教材などの新商品が多種類できて販売も行った。

就労継続支援(A型)

・利用者さまの希望や要望に合わせた働き方の提供と一般就労に向けて社会資源の活用やスキルアップ向上の支援をします。

⇒11月よりカフェができ、作業種が増えた。利用者様から希望要望等にあわせた働き方の提供は一部の利用者様はできたが、社会資源活用はできなかった。

(5)行事報告

月	日	曜日	行事等	施設内・外	利用者参加数
5	15	火	春の遠足(平岡公園)	近郊	20名
5	16	水	春の遠足(平岡公園)	近郊	24名
7	5~ 6	木~ 金	一泊旅行(旭川イオン 旭山動物園見学)	旭川方面	20名
7	12~ 13	木~ 金	一泊旅行(旭川科学館 旭山動物園見学)	旭川方面	23名
10	18	金	バス遠足(ノーザンホースパーク)	苫小牧方面	40名
12	25	金	クリスマス会	ワーク 食堂	47名
1	18	金	新年会 餅つき	ワーク 食堂	47名
2	1	金	節分・豆まき	ワーク 食堂	41名
2	6	水	お楽しみ会(科学館見学)	札幌青少年科学館	11名
2	7	木	お楽しみ会(カラオケ)	カラオケバンバン	19名
2	8	金	お楽しみ会(買い物)	イオン平岡	15名
3	29	金	慰労会	ワーク 食堂	53名

3.職員の勤務状況

(1)職員数

管理者	サービス管理責任者	職業指導員	目標工賃達成指導員	生活支援員	事務員	栄養士	給食職員	看護師	協力医	合計
1	(1)	2	1	(14) 8	(1)	(1)	(4)	(1)	(1)	(22) 12

※()は臨時職員・嘱託職員・パート職員・兼務職員

(2)職員の異動

新 任			退 任		
発令年月日	職 名	人 数	発令年月日	職 名	人 数
30. 4. 1～	生活支援員	2名	30. 4. 1～	パート(調理員)	1名
	栄養士	1名		生活支援員	1名
	パート(調理員)	1名		パート(運転手)	1名
	パート(生活支援員)	2名			
報恩学園からの異動			報恩学園へ異動		
30. 4. 1	事務員	1名	31. 3. 31	生活支援員	2名
のぞみ寮からの異動			グリーンホーム厚別へ異動		
30. 4. 1	生活支援員	1名	31.3. 31	管理者	1名

(3)職員の研修

日程	研修名	開催地	出席者
H30.4.11	社会福祉法人 経営者セミナー	札幌市	1名
H30.5.17	富岡公治法律事務所講演会	札幌市	1名
H30.5.21-22	平成30年度 全道施設長セミナー	札幌市	1名
H30.7.2-3	平成30年度 全国知的障害関係施設長等会議	東京都	1名
H30.7.14	第1回 4法人個別支援計画作成研修	北広島市	1名
H30.7.27	平成30年度 ニューパワー全体セミナー	札幌市	2名
H30.8.3	障がい者の働く場 パワーアップフォーラム	札幌市	1名
H30.8.4	「はたらくnippon! 計画」A型フォーラムin札幌	札幌市	1名
H30.8.8	平成30年度 権利擁護セミナー	札幌市	1名
H30.9.3	平成30年度 「社会福祉法人・社会福祉施設ブロック研修会」	札幌市	1名
H30.10.3	赤い羽根共同募金	札幌市	1名
H30.10.9	ノロウイルス食中毒対策講習会	札幌市	1名
H30.10.25-26	第117回経団連労働者フォーラム北海道大会	札幌市	1名
H30.11.21	平成30年度法人役員・施設長専門研修	札幌市	1名
H30.11.28	平成30年度加齢化支援研修会	札幌市	1名
H30.11.29	社会福祉法人研修会	札幌市	1名
H30.12.3	平成30年度北海道知的障がい福祉協会就労支援部会 専門研修会	札幌市	1名
H30.12.10-11	平成30年度北海道知的障がい関係支援員初任者研修	札幌市	1名
H30.12.12~13	平成30年度日中活動支援部会職員研修会	札幌市	1名
H30.12.12	経営適正化に向けた経営計画の立て方	札幌市	1名
H30.12.18	「生活困窮者に対する安心サポート事業」説明会	札幌市	1名
H31.1.16-17	平成30年度 幹部職員研修会	札幌市	2名
H31.1.18	社会福祉法人の予算策定決算処理の実務解説	札幌市	1名
H31.1.24	ジョブダス就活 2020「採用フォローセミナー」	札幌市	1名
H31.2.13	平成30年度地域公益活動普及・啓発セミナー	札幌市	1名
H31.2.14	社会福祉法人経営実務セミナー	札幌市	1名
H31.2.15	平成30年度札幌市知的障がい福祉協会職員研修会	札幌市	2名
H31.2.16	第5回4法人個別支援計画作成研修	千歳市	1名
H31.2.21-22	平成30年度 全道施設長研修会	札幌市	1名
H31.2.26	加工食品表示説明会	札幌市	1名

H31.3.5	自閉症児・者のライフステージに合わせた支援について	小樽市	1名
---------	---------------------------	-----	----

(4)勤務時間

- ・勤務時間については、現勤務時間で特に問題はなかった。

(5)諸会議

- ・定例会議は予定通り実施することができた。必要に応じて臨時の会議を設け対応した。

【のぞみ寮 概要】

一 宿泊型自立訓練・短期入所一

1. 支援目標(反省)

○就労している利用者様を職場に通勤していただきながら自立自活に必要な事項の支援を行いました。

○利用者様の社会適応能力を向上させ、円滑に社会自立が出来るよう支援を行いました。

2. 利用者支援

(1)受け入れ目標

・年間利用者延べ人数 ～	6,000 名	実績:4,575 名
・年間利用者延べ人数(短期入所) ～	72 名	実績: 266 名

(2)在籍実績

①利用者人員調べ

区 分	人 員		
	男	女	合計
平成29年度からの繰り越し人数	3名	6名	9名
本年度中の入所者数	4名	6名	10名
本年度中の利用者総数	7名	11名	18名
本年度中の退所者数	3名	5名	8名
差引本年度から平成31年度への繰越人員	6名	7名	13名
創立以来(通勤センターから)の利用者数	109名	85名	194名

②利用者月別在籍調べ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
契約者数	14名	14名	14名	14名	14名	14名
入所	5名	0名	0名	0名	0名	1名
退所	0名	0名	0名	0名	1名	1名

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
14名	13名	13名	12名	12名	17名	165名
0名	0名	0名	0名	0名	5名	11名
1名	0名	1名	0名	1名	3名	8名

③利用者障害程度区分調べ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
区分6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分3	2	2	2	2	2	1	1	1	1	0	0	0	14
区分2	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	40
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
非該当	9	9	9	9	9	10	10	9	8	8	8	12	110
計	14	14	14	14	14	14	14	13	13	12	12	16	164

④短期入所調べ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
男	0名(0日)	0名(0日)	0名(0日)	0名(0日)	0名(0日)	1名(15日)
女	1名(19日)	1名(1日)	1名(5日)	1名(30日)	1名(31日)	1名(30日)
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0名(0日)	0名(0日)	1名(3日)	1名(7日)	0名(0日)	1名(26日)	16名
1名(6日)	1名(6日)	1名(23日)	1名(30日)	1名(13日)	1名(21日)	(266日)

⑤退所者調べ

事由	男	女
GHへ	1名	3名
家庭	1名	0名
単身生活	1名	0名
他施設へ	0名	2名
合計	3名	5名

(3)日課表(仕事の関係上この限りではなく一応の目安)及び行事

<日課>

6:30 起床(随時)
 7:15 朝食・出勤(随時)
 12:30 昼食(休日)
 18:30 夕食

19:00 入浴・自由時間

22:00 消灯

<行事>

- ・ 5月11日 のぞみ寮歓迎会
- ・ 6月17日 運動会
- ・ 9月23日 報恩まつり
- ・ 10月13日 味覚祭
- ・ 1月 2日 新年会
- ・ 1月15日 成人のお祝い会

(4)ブロック目標

・地域移行に向けた具体的な研修のプログラムを検討実施します。

⇒地域移行に向け必要なプログラムを検討し、利用者向け研修を実施できた。複数回のグループホーム見学、職場の見学等も実施できた。

・定員20名の満床を目指します。(空床時の短期入所利用促進)

⇒長期利用の短期入所も含め12名～14名の利用状況であり、残念ながら達成できなかった。

・年度内4～5名の地域移行を実現する。

⇒1年間で8名の地域移行を実現した。

・北海道地域生活定着支援センターと連携し、触法者の受け入れを進めます。

(年度内1名程度)

⇒1名の新規利用受け入れを行った。地域定着支援センターとの連携を継続している。

・利用者自治会による自主的企画を基本に、地域活動や勉強会等を行います。

⇒利用者自治会と話し合いながら、勉強会活動を継続できた。

・くろみ寮と連携の強化をはじめ、関係専門機関との連携を図ります。

⇒支援学校を始め、関係機関との連携を強化し、必要な会議を充実させることで、社会生活上の様々な困難な状況に対応できるようになった。

・障害特性に応じた訓練や支援を実施できるよう、研修参加や施設内研修を行います。

⇒SST研修への職員の派遣を行った。ケースカンファレンスを充実させることで専門性の向上し、実践力が高まった。

・利用者の夜間早朝の生活訓練の充実を目指し夜間支援体制強化を図る。

⇒夜間支援体制加算Ⅰ及びⅡの取得により、夜勤職員配置を行い、夜間早朝の支援が充実した。

3. 職員の勤務状況

(1) 職員数

管理者	サービス管理責任者	生活支援員	地域移行支援員	栄養士	看護師	合計
(1)	1	(3) 2	(1) 1	(1)	(1)	(7) 4

※()は臨時職員・嘱託職員・パート職員・兼務職員

(2) 職員の異動

新任			退任		
発令	職名	人数	発令	職名	人数
H30. 4. 1～	夜間支援員	4名			
くるみ寮より異動			札幌報恩学園へ異動		
h30. 4. 1	支援主任	1名	h30. 3. 31	生活支援員	1名
札幌報恩学園より異動					
h30. 4. 1	生活支援員	1名			
ワークショップ上野幌より異動					
h30. 4. 1	事務員	1名			

(3) 研修調べ(外部研修)

日付	研修名	場所	人数
5/21～22	全道施設長会議	札幌	1名
8/6～7	平成30年度全国宿泊型自立訓練職員研究大会	仙台	1名
7/2～3	全国施設長会議	東京	1名
8/8	平成30年度権利擁護セミナー	札幌	1名
9/3	平成30年社会福祉法人ブロック研修会	札幌	1名
10/13～14	SST 初級研修会	札幌	1名
10/17～18	平成30年度全道知的障がい関係職員研究大会	定山溪	1名
11/21	平成30年度法人役員・施設長専門研修	札幌	1名
12/5	自立支援協議会厚別部会事業所交流会	札幌	1名

1/16～17	平成 30 年度幹部職員研修会	札幌	1名
1/25	平成 30 年度全道グループホーム等スタッフ研修会	札幌	1名
2/19	パートタイム・有期雇用労働法等説明会	札幌	1名
2/21～22	平成30年度全道施設長研修	札幌	1名
2/4	都道府県経営協セミナー	札幌	1名
3/18～21	平成 30 年度北海道行動援護従事者養成研修	札幌	1名

(4)勤務時間

- 土日祝祭日及び朝夕夜の支援ニーズに対して、夜間支援員を雇用し、夜間支援体制加算Ⅰ及びⅡによる夜勤を中心とした勤務体制をとることで、支援を充実させることが出来た。勤務時間の適正化も実現できた。

(5)諸会議

- くるみ寮とのぞみ寮の職員朝会の合同開催も安定的に実施できた。
- 地域移行会議、各種委員会(虐待防止・感染症予防・事故防止・労働衛生)の合同開催の継続、グリーンホーム厚別給食会議参加、個別支援計画の策定及びモニタリング会議等3カ月1回開催により法人内各事業所との連携を継続できた。
- 地域生活定着支援センター、相談支援事業所等関係者等との調整会議を実施した。

【くるみ寮 概要】

— 共同生活援助～介護サービス包括型 —

1. 支援目標(反省)

- 利用者様が地域において日常生活を営むことが出来るよう、身体及び精神の状況並びに各々が置かれている環境に応じて支援を行いました。
- 各々のニーズに的確に応えられるよう支援活動行いました。

2. 利用者支援

(1)受け入れ目標

・年間利用者延べ人数 ～ 28,000 名 実数:27464 名

(2)在籍実績

①利用者人数調べ

区 分	人 員		
	男	女	合計
平成 29 年度から本年度への繰越員数	57 名	20 名	77 名
本年度中の入所者数	2 名	2 名	4 名
本年度中の利用者総数	59 名	22 名	81 名
本年度中の退所者数	2 名	3 名	5 名
差引本年度から平成31年度への繰越人員	58 名	20 名	78 名
創立以来(平成 22 年—体型以来)の利用者数	74 名	30 名	104 名

②月別員数調べ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	79	79	79	77	77	78	77	78	78	79	79	79	
入所	0	0	0	0	0	1	0	2	0	1	0	0	4
退所	0	0	2	0	1	1	0	0	0	0	0	1	5

③在籍者、程度別調べ

※利用者障害程度区分調べ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
区分6	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	26
区分5	9	9	9	9	9	9	9	9	9	11	11	11	114
区分4	17	17	17	17	17	17	17	17	17	15	15	15	198
区分3	32	32	32	32	32	34	34	34	34	34	33	33	396
区分2	18	18	18	16	16	15	14	14	14	15	15	15	188
区分1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	17
計	79	79	79	77	77	78	77	78	78	79	79	79	939

※区分変更者あり

④退所者調べ

事由	男	女
他施設へ	1名	0名
家庭	0名	2名
その他	1名	1名
合計	2名	3名

(3)日課、行事

<日課>

・利用者さんの出勤状況により1日の流れが異なる為、ホーム毎の日課で対応。

<行事>

5/27(日)、6/3(日) すずらんピック(卓球・ボウリング・フライングディスク)

10/28(日)同窓会

12/16(日)第23回「赤い羽根」ティーボール北の甲子園大会

1/2(水)のぞみ寮くろみ寮合同鍋行事

(4)ブロック目標

・GHへのニーズにお応えし、計画的に4名の定員増を実現する。

⇒定員増については、賃貸物件が見つからない等の物理的な側面と、利用ニーズが無かったことで増床には至らなかった。

・各ホームのメンテナンス実施のため計画書を作成するとともに、緊急性のある物には速やかに対応する。

⇒くるみ寮、すみれ寮の修理、ガス設備更新、灯油タンク更新、ミントハウスのスプリンクラー設置等必要な改修修繕を実施することが出来た。

・ニーズの調査を行い、希望の居住スタイルの把握に努める。ニーズに合わせ、単身生活(サテライト等)の実現を目指す。

⇒1名の単身移行を実現した。サテライト移行については今期達成できなかった。

・GH利用者さまの日々の動向の情報を集約し、災害発生時に速やかに適切に対処できるように、マニュアルの充実を図る。利用者さま向け防災の情報提供を実施する。

⇒くるみ寮:緊急時対応マニュアル中7項目を見直し、更新を行った。年間2回の避難訓練を実施することができた。震災を経験したことにより、マニュアルの再確認を実施することができた。非常食等の購入等を行った。震災体験の整理も含め、利用者に情報提供を実施した。

・成年後見制度の内容を把握し利用者さまに情報提供する。利用者さまから希望に応じ制度利用の支援をする。

⇒新たに1名の利用者に後見人をつけることができた。

・重度化高齢化等に対応し夜間支援体制の充実を図る

⇒必要な夜間支援職員の雇用を行いつつ、必要な夜間支援を増やすことが出来た。夜間支援体制加算Ⅲも新たに取得できた。

・障害特性に合わせた支援を踏まえ支援の質の向上を目指し、定期的に研修会を実施する。

⇒虐待防止、権利擁護研修は実施できた。

3. 職員の勤務状況

(1)職員数、在籍者数

管理者	サービス管理責任者	生活支援員	事務員	世話人	合計
(1)		(1)	(1)	(55)	(58)
	3	8	2		13

※()は臨時職員・嘱託職員・パート職員・兼務職員

(2)職員の異動

新任			退任		
発令	職名	氏名	発令	職名	氏名
h30. 4. 1～	世話人他	6名	h31. 3. 31	生活支援員	1名
			h30. 4. 1～	世話人他	10名
札幌報恩学園より異動			札幌報恩学園へ異動		
h30. 4. 1	支援主任	1名	h31. 3. 31	支援主任	1名
				生活支援員	1名
				事務員	1名
			そよ風へ異動		
			h31. 3. 31	生活支援員	1名

(3)研修調べ(外部研修)

日付	研修名	場所	人数
5/21～22	全道施設長会議	札幌	1名
7/2～3	全国知的障がい施設等関係施設長会議	東京	1名
7/14	四法人研修	北広島	1名
7/14	平成30年度全道相談支援・地域支援等職員研修会	札幌	1名
7/23	平成30年度施設職員スキルアップ講座	札幌	1名
8/8	平成30年度権利擁護セミナー	札幌	1名
8/11	平成30年度四法人研修実践報告会	恵庭	1名
9/2～4	全国グループホーム等研修会四国大会イン愛媛	愛媛	1名
9/3	平成30年社会福祉法人ブロック研修会	札幌	1名
10/17～18	平成30年度全道知的障がい関係職員研究大会	定山溪	1名
11/21	平成30年度法人役員・施設長専門研修	札幌	1名
11/28～30	北海道サービス管理責任者研修(第3分野/地域生活)	札幌	1名
12/1	四法人個別支援計画研修	札幌	1名
12/5	自立支援協議会厚別部会事業所交流会	札幌	1名
1/16～17	平成30年度幹部職員研修会	札幌	1名
1/25	平成30年度全道グループホーム等スタッフ研修会	札幌	2名
2/4	都道府県経営協セミナー	札幌	1名
2/15	平成30年度札幌市知的障がい福祉協会職員研修会	札幌	1名
2/16	個別支援計画研修(四法人;千歳)	千歳	1名
2/19	パートタイム・有期雇用労働法等説明会	札幌	1名

2/21～22	平成30年度全道施設長研修	札幌	1名
3/18～21	平成30年度北海道行動援護従事者養成研修	札幌	1名

(4)勤務時間

- 8:00 から 20:00 の日中帯の支援においては、早出、日勤、遅出の組み合わせのシフト制により円滑に対応できた。重度化、高年齢化に備え、より介護サービス包括型に相応しい勤務体制の工夫も大きな課題である。今期は夜間支援等体制加算Ⅰ及びⅡの体制5ホームに加え、夜間支援等体制加算Ⅲを12ホームで取得することが出来た。

(5)諸会議

- くるみ寮のぞみ寮の、合同職員朝会は継続することが出来た。地域移行会議、各種委員会(虐待防止・感染症予防・事故防止・労働衛生)の合同開催の継続、ワークショップ上野幌給食会議参加、個別支援計画の策定及びモニタリング会議等により法人内各事業所との連携継続できた。
- 毎月各ホーム会議を行い、日々の課題の解決に努めるとともに、支援の価値観の共有等により支援の質の向上が図れた。
- くるみ寮支援会議を毎月定例開催出来た。

【ホープス 概要】

—就労継続支援(B型)・就労移行支援～多機能型—

1. 支援目標(反省)

・就労移行支援では、利用されていた 1 名の利用者様とハローワークへの訪問、事業所見学を行い他の A 型事業所の利用に結び付いた。しかし、その後の新たな利用開始者がおらず就労移行支援定員 6 名に対し利用者が 0 名という状態が続いた。

年度末に実習を受けた高等支援学校より 1 名利用開始を受けることができた。

・就労継続支援 B 型では、より一般就労を意識した形で働くことができるよう働く上でのルールや技術の向上を目指し支援を行った。

・今年度は夏休み、冬休みの体験実習や支援学校から卒業後の利用を前提とした実習を受けることができた。

2. 利用者支援

(1) 利用者の受入目標

① 定員 20 名(年間利用人数 28 名)

年間受入目標(年間延べ) 5,400 名

年間受入実績 移行:26 名(利用率 4.2%) B 型:3,960 名(利用率 95.0%)

(2) 利用者の在籍数、実績数

① 利用者人数調べ

	男	女	計
平成 29 年度から本年度への繰越人員	15	1	16
本年度中の入所者数	2	0	2
本年度中の利用者数	17	1	18
本年度中の退所者数	1	0	1
差引本年度から平成 31 年度への繰越人員	16	1	17
創立以来の利用者数	47	9	56

② 月別人員調べ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	16	15	15	15	15	16	16	16	16	16	16	16	187
月平均	13.6	12.1	13.1	14.0	12.0	13.3	13.1	12.3	12.7	11.2	13.7	12.1	12.8
入所	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1
退所	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

③本年度入所利用者調

入所者数	男	女	計
	2	0	2

④本年度退所利用者調べ

	男	女	計
一般企業への就職	0	0	0
他の福祉事業所の利用	1	0	1
入所施設	0	0	0
家庭	0	0	0
死亡	0	0	0
その他	0	0	0

⑤在籍者、程度別調

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
区分6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
区分3	5	5	5	5	5	6	6	6	6	6	6	6	67
区分2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
区分1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
非該当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未実施	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	37
計	16	15	15	15	15	16	16	16	16	16	16	16	188

(3)利用者の日課表

・9:00より通所の受け入れを行い、9:30～16:30まで作業を行った。

(4)行事報告

実施日	行事	実施場所	参加者数
5月18日	お花見会	雨天のため ホープス内で実施	13名
5月31日	かたるべ	札幌ドーム	4名
7月20日・21日	一泊旅行	ニセコ方面	11名

10月6日	社会見学	札幌市電車事業所	12名
10月31日	100年祝賀会	ひまわり	13名
12月21日	忘年会	ホープス	15名
1月19日	新年会	厚別パークボウル他	11名
2月1日	豆まき	事業所内	16名
3月16日	慰労会	新篠津温泉	12名

(5)事業所目標(反省)

- ①「就労移行支援から一般就労及び6ヶ月以上の就労定着者を目指す。」
5月に他のA型事業所へ利用者さんが移られたあとは、移行の利用希望者がおらず目標の達成には至らなかった。
- ②「ホープス内の研修を継続し、障がい特性の理解につなげる。」
研修を計画的に実施することができなかった。次年度の課題である。
外部研修に参加した際には、支援会議で報告することで情報の共有ができた。
- ③「障がいの強みを活かせる仕事とのマッチングを図る。」
作業考課表を用い、各利用者さんの作業能力を視覚化できたが、活用には至らなかった。
利用者さんの希望する作業や個別支援計画に上げられている作業は継続して提供することができた。
- ④「利用率の安定化を図る。」
就労継続支援B型に関しては概ね95%の利用率であった。
遅刻が常態化している利用者さんに対する働きかけを継続して行っていく。
- ⑤「作業工賃を上げるための対策を考える。」
ワックス美装時、一部使用するワックスによっては料金の見直しを行った。
ポスティングや草刈り等前年度以上の依頼を受けることができ、収入につながった。

3. 職員の勤務状況

(1) 職員の在籍数調

管理者	サービス管理責任者	就労移行支援員	目標工賃達成指導員	職業指導員	生活支援員	事務員	看護師	協力医	合計
1	1	1	1	(1) 1	(2)	1	(1)	(1)	(5) 6

※()は臨時職員・嘱託職員・パート職員・兼務職員

(2) 職員の異動

新任			退任		
発令年月日	職名	氏名	発令年月日	職名	氏名
報恩学園より異動			報恩学園へ異動		
H304.01	職業指導員等	1名			
グリーンホーム厚別より異動			グリーンホーム厚別へ異動		
H30.4.01	職業指導員等	1名			

(3) 職員研修

日程	研修名	場所	人数
5/21～22	平成 30 年度全道施設長セミナー	札幌市	1名
5/25	平成 30 年度 札幌市知的障がい福祉協会 定期総会	札幌市	1名
6/28	札幌市知的障がい福祉協会新任支援員研修	札幌市	1名
7/2～3	平成 30 年度全国知的障害関係施設長等会議	東京都	1名
8/8	平成 30 年度 権利擁護セミナー	札幌市	1名
9/3	社会福祉法人社会福祉施設ブロック研修会	札幌市	1名
9/28	第2回からびな学習会	札幌市	2名
10/10	管理部門から始める働き方改革	札幌市	1名
10/27	四法人個別支援計画作成研修	恵庭市	1名
11/8	ワックス講習会	札幌市	4名
11/10	就労移行支援事業所職員向け研修	札幌市	2名

11/13	ワックス講習会	札幌市	1名
11/21	施設長セミナー	札幌市	1名
11/28	平成30年度 加齢化支援研修会	札幌市	1名
12/3	平成30年度 就労支援部会専門研修会	札幌市	1名
12/18	障がい者交通費助成に関する説明会	札幌市	1名
12/22	四法人個別支援計画作成研修	札幌市	1名
2/15	利用者のことをさらに知る	札幌市	1名
2/28	厚別区で垣根のない支援を考える	札幌市	1名
3/14	会計担当者のための決算直前セミナー	札幌市	1名

(4)職員の勤務時間

- ・職員の勤務時間は 9:00～17:30で特に問題なかった。

(5)諸会議

- ・ホープスの支援会議は利用者が退勤後に行う事で、特に問題はなかった。法人全体にかかわる他の会議は、担当職員のみ出席することで作業には影響はなかった。

【サポート91 概要】

—居宅介護・重度訪問介護・行動援護・移動支援—

1. 支援目標(反省)

- ・利用される方が居宅やグループホームにおいて自立した生活が送れるよう通院や余暇の支援を行った。

2. 利用者支援

(1)利用者の受入目標

- ・4月1日現在の契約者数は 83 名、うち居宅介護 35 名、行動援護 20 名、同行援護3 名、移動支援 52 名、私的契約 42 名となっている。(重複者含む)30 年度は新規契約者数 2 名だった。
- ・都合により 2 名の方が契約終了となった。

(2)利用者契約者数調べ～居宅介護・重度訪問介護・行動援護・同行援護

(単位:人、毎月初日)

区分													合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
居宅介護	41	37	37	37	37	37	38	38	36	36	36	35	445
重度訪問介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
行動援護	23	22	22	22	22	22	22	22	21	20	20	20	258
同行援護	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
合計	67	62	62	62	62	62	63	63	60	59	59	58	739

(3)利用者延べ人数調べ～居宅介護・重度訪問介護・行動援護・同行援護(単位:人)

区分													合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
居宅介護	54	61	63	67	52	48	52	53	49	43	45	54	641
重度訪問介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
行動援護	46	42	41	41	43	32	29	24	25	26	26	27	402
同行援護	0	0	4	9	10	10	11	7	7	4	3	5	70
合計	100	103	108	117	105	90	92	84	81	73	74	86	1113

(4)利用者契約者数調べ～移動支援

(単位:人)

区分	平成28年						平成29年						現数
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
移動支援	52	52	53	53	53	53	53	53	53	53	53	52	52

(5)利用者延人数調べ～移動支援

(単位:人)

区分	平成28年						平成29年						合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
移動支援	90	99	96	98	86	56	72	73	82	68	73	69	962

(6)契約者総数

(単位:人)

区分	平成28年						平成29年						合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
居宅介護	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1
重度訪問介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
行動援護	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
同行援護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
移動支援	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3

(7)事業所目標(反省)

- ①「常勤職員の稼働率の安定化を図るため、月平均稼働時間 90～100 時間を目指す」
 年度途中で職員が減ったこともあり、達成することができなかった。
 支援から支援の移動時間や距離を短くするよう配慮したが、夕方に支援希望が偏っており調整が難しいことがあった。
 職員が減ってからは利用者さんに代替えの日を提案するなどご協力をいただきながら支援を維持することができた。
- ②「新規利用者の獲得を目指し他事業所との連携や情報発信を行う」
 年度前半は業務に慣れることに時間を要したこと、後半は職員の欠員があり新規を受け入れる余裕がなく、取り組みが出来なかった。

③「宿泊付き外出の受け入れについて可能かどうか検討する。」

制度の中で請求できる部分が少なく、利用者さんの負担が大きくなってしまいう上、事業所への収入も少額であることがわかった。

積極的に募集することはしなかったが、聞き取りを行う中では宿泊付き外出の希望はなかった。

④「家事援助におけるスキルアップを図る。」

家事の研修を行っているところはほとんどなかったため、自分たちが家事支援の際に、技術や知識が不足していると思うことをあげ、それに関係する資料を作成、会議で発表して周知した。

3、職員の勤務状況

(1)職員の在籍数調べ

管理者	サービス提供責任者	サービス提供従事者	事務員	看護師	協力医	合計
(1)	1	(5) 2	(1)	(1)	(1)	(9) 3

※()は臨時職員・嘱託職員・パート職員・兼務職員

(2)職員の異動

新任			退任		
発令年月日	職名	氏名	発令年月日	職名	氏名
			H30.3.31	提供支援員	1名
			H30.9.30	提供支援員	1名
報恩学園より異動			報恩学園へ異動		
H30.4.01	提供支援員	2名			

(3)職員の研修調

日程	研修名	場所	人数
4/2~5	平成 30 年度 北海道行動援護従業者養成研修	札幌市	1名
5/18・25	同行援護従業者養成研修(応用課程)	札幌市	1名
7/30・8/13	平成 30 年度個別支援計画作成研修(基礎研修)	札幌市	1名
全	介護福祉士実務者研修	札幌市	1名
9/12・19・26	同行援護従業者養成研修	札幌市	1名
10/13・14・20・21	同行援護従業者養成研修(一般課程・応用課程)	札幌市	1名

※その他、登録ヘルパーの研修を事業所で1回行った。

(4)職員の勤務時間

・通常勤務は 9:30~18:00 となっているが、支援内容によっては勤務時間の変更を随時行った。

(5)諸会議

・支援の調整を行うことで月1回開催できた。

【ステーション106 概要】

— 相談支援 —

1. 支援目標(反省)

・サービス等利用計画作成の契約者数が 250 人を超し、今後もサービス等利用計画の依頼件数が増えていくことが予想されるが丁寧なアセスメントを心がけていく。

計画相談支援については新たな加算要件が加わったため、札幌市の説明会に参加し会議にて情報共有を行いながら必要な書類作成に努めた。

計画相談以外の相談対応について一般相談の件数はそれほど多くはなかったが、今後も委託事業所と連携を図りながら、対応していきたい。

2. 利用者支援

(1) 在籍実績

① 利用人数調べ

	男	女	計
平成 29 年度からの本年度への繰越契約者数	98	50	148
本年度中の新規契約者数	73	42	115
本年度中のサービス等利用計画作成件数	124	53	177
本年度中のモニタリング件数	175	90	265
本年度中の契約解消者数	1	5	6
創立以来の契約者数	104	64	168

② 新規契約者の障がい別調べ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
重心	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
知的	20	22	14	6	24	6	5	3	6	3	3	3	115
精神	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
発達	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高次脳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
難病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	20	22	14	6	24	6	5	3	6	3	3	3	115

③相談月別人員調べ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規相談数	24	22	14	7	24	6	6	4	7	3	5	3	125
契約者数	20	22	14	6	24	6	5	3	6	3	3	3	115

(2)事業所目標(反省)

①「相談員の支援技術の向上に努める」

自立支援協議会厚別区地域部会や委託と指定相談支援事業所の懇談会に参加することで他事業所との情報共有に努めた。また、他機関の集まり「コミット」へ参加し、事例検討、研修会や学習会の開催を行い、多職種の間で理解、連携を行えるよう関係性を築いた。

障がい特性を理解した上で計画相談支援の対応ができるよう行動援護の研修に参加した。

②「相談支援専門員を養成していく」

今年度は基礎研修を1名受講した。研修の倍率が高く、なかなか受講できないこともあるため、今後も計画的に受講計画を立てていく。

③「札幌市の委託の募集に備える」

今年度は新規委託事業所の募集はなかった。

3. 職員の勤務状況

(1)職員数、在籍者数

管理者	相談員	事務員	看護師	協力医	合計
(1)	(3) 1	(1)	(1)	(1)	(6) 1

※()は臨時職員・嘱託職員・パート職員・兼務職員

(2)職員の異動

新任			退任		
発令	職名	氏名	発令	職名	氏名
H30.4.1	管理者	1名	H31.3.31	管理者	1名
			H31.3.31	相談員	1名

(3)研修調べ

日程	研修名	場所	人数
4/19	自立支援協議会厚別区部会	札幌市	1名
7/他全5日間	相談支援従事者研修(基礎研修)	札幌市	2名
9/他全4日間	北海道行動援護従事者養成研修	札幌市	1名
12/5	厚別区地域部会事業所交流会	札幌市	1名
2/28	自立支援協議会厚別区部会	札幌市	1名

(4)勤務時間

- ・ 勤務時間については特に問題なし。

(5)諸会議について

- ・ ステーション106の会議を通して、職員間の情報共有を図った。
- ・ 開催時間を第三木曜日 10:00 と設定し、問題なく行えた。

【就業・生活相談室しんさっぽろ 概要】

— 就業・生活相談 —

1. 支援目標:達成度

・札幌市の委託事業である「就業・生活相談支援事業」を受託し7年目の年となった。
相談者の「働きたい」という想いに応える支援を展開し、就職者が年間21名と目標を達成することが出来た。

2. 利用者支援

(1) 在籍実績

① 利用人数調べ

	男	女	計
平成29年度からの本年度への繰越登録者数	72	27	99
本年度中の新規登録者数	30	15	45
本年度中の登録相談者数	102	42	144
本年度中の登録抹消者数	16	9	25
創立以来の登録者数	246	136	382

② 新規登録者の障がい別調べ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体	0	0	0	0	0	0	1	2	2	0	0	1	6
重心	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
知的	0	1	2	3	1	1	1	1	2	0	1	2	15
精神	1	1	3	2	3	2	4	1	0	1	0	1	19
発達	1	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	4
高次脳	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
難病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	2	2	5	5	5	4	6	6	4	1	1	4	45

③相談月別人員調べ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規相談数	17	17	19	22	10	7	17	8	13	5	21	11	167
登録者数	2	2	5	5	5	4	6	6	4	1	1	4	45

(2)事業所目標:達成度

①年間就職者数20名を目標とする。

- ・今年度は21名の方が就職され、目標を達成することが出来た。

②支援の質を向上させる。

- ・ケース検討やロールプレイ等の実践的な内容を勉強会に取り入れることで支援に直接役立てることが出来た。勉強会の進行、発表も良い勉強になっている。進行方法をより効率的に学ぶ方法を今後検討したい。

③定着支援を充実させる

- ・茶話会で調理や外出を行う機会を提供した。外出先を新たに開拓し、参加者の見聞を広めることができた。また、社会性、社交性の確認ができるとともに余暇の充実が仕事に良い影響を与えているように思われる。
- ・定着支援の増加に伴い、土曜日出勤が多くなった。

④ジョブサポーターの支援の質の向上を目指す。

- ・企業やハローワーク等の関係機関からの依頼が多くあった。定着支援だけではなく、雇入れ等の支援を行う機会もあり、質の向上に繋がった。

3. 職員の勤務状況

(1)職員数、在籍者数

管理者	相談員	ジョブサポーター	事務員	看護師	協力医	合計
(1)	(1) 3	2	(1)	(1)	(1)	(6) 5

※()は臨時職員・嘱託職員・パート職員・兼務職員

(2)職員の異動

新任			退任		
発令	職名	氏名	発令	職名	氏名
			H30.03.23	相談員	1名
報恩学園より異動			報恩学園へ異動		
H30.04.01	相談員等	1名	H31.03.31	生活支援員	1名

(3)研修調べ

日程	研修名	場所	人数
4/20	日本職業リハビリテーション学会	札幌市	1名
4/27	就労支援推進部会定例会	札幌市	2名
7/21	高次脳機能障害支援者研修会	札幌市	1名
7/24	職業支援基礎研修	札幌市	1名
7/30	障がい者在宅就業セミナー	札幌市	1名
10/22	白石区地域部会就労部会研修会	札幌市	1名
10/26	高等支援学校ネットワーク会議	札幌市	1名
10/27	ジョブコーチ実践フォーラム	札幌市	3名
11/10	就労移行支援事業所職員向け研修	札幌市	1名
11/20	職業能力開発スタッフ研修	札幌市	1名
11/30	市立みなみの杜高等支援学校公開研究	札幌市	2名
12/5	障がい者雇用セミナー	札幌市	2名
12/7	職業・生活相談室研修	札幌市	6名
12/11	ゲートキーパー研修会	札幌市	1名
1/29	e-ふらつとと学ぼう	札幌市	2名
2/1	さぼコン(若手支援者の意見交換会)	札幌市	2名
2/8	キャリアバンク 障がい者雇用セミナー	札幌市	1名
2/26	就労系福祉サービス事業所意見交換会	札幌市	6名
2/28	厚別地域部会 研修会	札幌市	1名

(4)勤務時間

- 支援に合わせて勤務調整を行い、問題なく運営することが出来た。

(5)諸会議について

- 職員会議は協議する内容を簡潔にまとめる事が出来た。
- 施設連絡会議等で法人内の情報についても共有を図ることが出来た。
- 就労支援推進部会、就業・生活相談室連絡会議や障害者職業センターの発達障がい者支援会議等これまでの会議に加え、生活困窮者支援事業者との会議、ハローワークとの連絡会議、札幌職リハ会議等、外部での新たな会議も増え、情報を関係機関と共有することが出来た。

【まごころ保育園 概要】

— 保育事業 —

1. <支援目標(保育)反省>

- 一人ひとりに寄り添う保育は全体的に少しずつ形が出来てきた。しかし丁寧な保育や環境づくりは、もう少し工夫が必要と感じた。信頼関係は深まり始めてきた。
- 振り返りを活かせる時と上手くいかない時があり、カリキュラムの立て方の工夫や勉強することが必要と感じた。しかし保育内容は少しずつ満足できることも増え、自信に繋げなかつた。さらに保育が深まる努力をしていく。
- 家庭との連携は、少しずつ保育園の様子を伝える時間など各クラスで、懇談会等を利用し、幅広く連携できるようになってきた。しかし、「一人ひとりに」と考えると、気になる子など、かわりに差が出てしまうことに悩むこともあった。今後のさらに工夫していく。

2. 利用園児支援

(1)受け入れ目標

- ・ 入所園児(3月末日実数) 73名(定員60名)
- ・ 定員120%までを考慮し年齢バランス調整を行うことができた。

(2)在籍実績

・人員調べ

	年齢別人員												合計
	0才児		1才児		2才児		3才児		4才児		5歳児		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
本年度へ繰越園児数	0	0	6	3	4	7	6	5	8	5	4	7	55
本年度中入所園児	9	3	1	2	1	0	1	0	0	0	0	1	18
本年度中退園児	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4	8	13
3月31日在籍数	9	3	7	5	5	7	7	5	8	5	4	8	73
入園児総人数(H24年～)	男:83 女:72 (卒園児総数:68名・中途退園27名)												155

・利用園児(入所)月別人数調べ

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実人数	55	66	67	67	69	69	71	72	72	72	72	73	825
入所	11	1	0	2	0	2	1	0	0	0	1	0	18
退所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	13

・月別人数調べ(一時保育)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実人数	0	2	4	3	5	2	7	5	5	4	5	5	47
延べ人数	0	3	4	3	5	4	11	8	16	20	20	10	104

・月別人数調べ(時間外保育)

標準 18:00~19:00

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実人数	27	22	25	31	25	25	27	34	29	35	31	31	343
延べ人数	174	144	153	150	149	138	176	161	148	157	145	171	1866

短時間 7:00~8:00 /16:00~18:00

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実人数	1	2	2	2	3	1	1	2	3	1	1	0	1
延べ人数	8	14	16	16	16	10	21	22	27	17	24	0	5

(3) 日課表

《 0才児/1・2才児 》		《 3才～5才児 》	
7:00	登園 混合保育	7:00	登園 混合保育
9:00	1・2歳未満児午前おやつ	9:20	3才以上児混合保育
10:00	クラス保育	10:00	クラス保育
10:30	0才児離乳食(月齢時間差有)		
11:15	1才児食事(2才児時間差有)		
12:10	午睡(年齢により時間差有)	11:30	食事
14:30	目覚め・着替え	13:00	午睡
14:40	午後離乳食(7/8か月以降児)	14:30	目覚め・着替え
15:00	1・2才児 おやつ	15:00	おやつ
16:00	1・2才児混合保育 随時降園	16:00	混合保育 随時降園
18:00	延長保育	18:00	延長保育
18:15	延長おやつ	18:15	延長おやつ
19:00	降園	19:00	降園

(4) 行事報告

- ・ 誕生会(毎月)
- ・ 園医小児科健診(3才以上児年2回 2歳未満児年4回 4/7/10/1月)
- ・ 避難訓練(毎月)第2週木曜日・火災・地震・不審者侵入3つを訓練時間や職員人数、避難場所(園内、園庭、駐車場)等変更し消火器の場所確認、初期消火及び通報訓練を実施した。

月 日	対象年齢	行 事 名
4月2日(月)10:00～	全園児	第7回入園進級式
5月2日(火)10:00～	全園児	子どもの日のつどい
5月16日(水)～25日(金)	保護者(夕方)	各クラス懇談会(6日間)
6月6日(水)9:45～	全園児	歯科検診
6月18日～29日	0, 1, 2才児	クラス個別懇談(3日間ずつ)
6月14日(木)10:00～	全園児	春の交通安全教室
5月16日(木)10:00～	2才以上	畑作り(予定変更有)
6月29日(金)9:20～	3, 4, 5才児	バス遠足(円山動物園)
7月2日(月)10:00～	全園児	プール開き
7月7日(土)9:30～	全園児	保育参観
7月2日～19日(月～金)	たてわり(3～5才児)	個別懇談(4日間ずつ)
8月7日(火)10:00～	全園児	七夕会

9月15日(土)9:30～	全園児	第7回運動会⇒震災のため延期
9月26日(火)9:30～	2才児	みかん遠足(法人バス利用)
9月21日(金)9:30～	3, 4, 5才児	たてわり遠足
10月11日(木)	全園児	避難訓練(消防総合訓練)
10月26日(金)10:00～	2才以上児	カレークッキング
12月1日(土)9:30～	全園児	第7回生活発表会
11月15日(木)10:00～	全園児	冬の交通安全教室
11月21日(水)10:00～	全園児	厚別南中学校職場体験
12月7日(金)10:00～	全園児	もちつき会
12月25日(火)10:00～	全園児	クリスマス会
12月26日(水)10:00～	全園児	まゆ玉飾り
12月29日(土)～1月3日		年末年始の休園
1月4日(金)	全園児	お正月の会
1月25日(金)	5才児保護者	年長にじ組懇談会
2月1日(金)	全園児	豆まき会
2月5日(火)	全園児	スノーフェスティバル
2月18日(月)～25日(月)	保護者(夕方)	各クラス期末懇談会(内6日間)
3月1日(金)	全園児	ひな祭り会
3月16日(土)	年長児3, 4才児	第7回卒園式
3月22日(金)	全園児	お別れ会
3月28日(火)	年長児	もりもと和菓子作り体験
3月30日(土)	新入園児	新年度準備・新入児オリエンテーション

(5) ブロック目標(クラス反省)

*0才児クラス(さくらんぼ組)

- 一人ひとりを大切に快適で安心できる環境と信頼関係を育み、さまざまな心身の発達へつながる保育を大切にする。

⇒一人ひとりの情緒の安定と生活リズムを大切に保育することができた。保護者との「共育て」を意識して、声を掛け合い、対応や悩みなど対策を考え合い、信頼関係を作ることができた。また、子どもの発達段階を確認、検討しながら行うことができた。

*1才児クラス(いちご組)

- 一人ひとりの成長発達を見据えながら、自我の芽生えや自分でしようとする気持ちなど受容し暖かい保育を大切にする。

⇒子どものやりたい気持ちを大切に援助するよう行っただが、話し合いの時間が足りず、工夫も足りなかった。発達過程を保育士同士確認し合うことはできたが、一人ひとりに対する丁寧な保育が足りなかった。

＊2才児クラス(みかん組)

- いろいろな体験を通して自己発揮し、安心できる環境の中で自ら出来たことを喜び、意欲や自信へつながるていねいな保育を大切にす。
- ⇒五感を使った遊びを多く取り入れることが出来、体験を通して発達を促すことができた。一人ひとりの信頼関係を持つことができ、「イヤイヤ期」などの成長段階をとらえて自己発揮できる工夫をすることが出来た。

＊3・4・5才児クラス(りんご・ぶどう・めろん組)

- 身近な人とのかかわりや異年齢の友だちとあそびを通し様々な経験の中で自分で考え行動する意欲や自信へつながる保育を大切にす。
- ・3才児 いろいろな友達とのかかわりの中で、助けられながらも自分から行動することを楽しみ、出来たことを喜び自信につなげる。
- ・4才児 いろいろな友だちとのつながりを深め、意欲や思いやりの心を持ち、一緒に活動を楽しむ中で自信につなげる。
- ・5歳児 年長児として就学に向けて自己主張しながらも、思いやりを持ち、人の気持ちや自分の気持ちを考え、自信を持って行動しようとする。
- ⇒子ども達と協同した保育を取り入れることができたことで、行事なども早くから取り組みや活発な活動へ繋げることができた。意欲や自信に繋げてきことができた。事故予防や感染症など、他クラスとの情報交換や連携することができ、スムーズに行くことが増えた。

＊保育園全体

- 豊かな自然の中で発見を楽しみ、いろいろな戸外遊びなどの経験を通し、自ら考えて行動できる豊かな心と逞しい体を育む。
- 五感や感性が育つあそびや指先・足裏の発達を促す遊びを積極的に行い、ひとり一人が健やかにたくましく成長できる保育を工夫し実践につなげる。
- ⇒戸外活動を活発に取り入れることができた。自然を利用した遊びなど年齢に沿った遊びの工夫もできた。法人内での、活動も参加することが出来たが、椎茸収穫など前年度出来た経験が今年にはできない事もあり、残念だった。
- ⇒朝夕の合同保育の際も全体で連携が出来、話し合いながら進めてくことができた。

3. 職員の勤務状況

(1)職員数・在籍者数

管理者	主任保育士	保育士	管理栄養士	調理員	事務員	嘱託医	清掃業務委託	合計
1	1	(2) 14	1	(1) 1	(1)	(2) 0	(2) 0	(4) 22

※()は臨時職員・パート職員 嘱託医・業務委託(清掃)人員数含まず

(2)職員の異動

新 任			退 任		
発令年月日	職 名	人 数	発令年月日	職 名	人 数
30.4.1～	保育士等	1名	31.3.31	主任保育士等 管理栄養士	3名 1名

(3)研修調べ

期 日	内 容	開催地	出席人数
5/14	札幌市私保連研修会「幼児の足の健康・安全を守る靴教育」	札幌市	保1名
5/16	私保連研修「保育施設における深刻事故予防」	札幌市	保2名
6/ 1	札幌市保育所等給食・食育関係者食品衛生研修会	札幌市	栄1名
6/ 4	私保連研修「心をつなぐわらべ歌と昔あそび」	札幌市	保1名
6/ 7	法人研修 救命救急講習	札幌市	保2名
6/12	法人研修 新人フォローアップ研修	札幌市	保1名
6/13	第1回厚別区幼保小連携推進協議会研修	札幌市	園・保3名
6/18	札幌市私保連研修会「リーダー研修」	札幌市	主保1名
6/26	札幌市第2回保育所職員研修	札幌市	保2名
7/ 2	私保連研修「保育所等経営実態調査でわからない実態」	札幌市	園・事2名
7/ 5	私保連研修「ソーシャルワークを活かした保護者支援」	札幌市	主保1名
7/ 9	私保連研修「0, 1, 2歳の発達とその保育その基本的理解」	札幌市	保1名
7/11	あつべつきた幼稚園研修「地域公開保育」	札幌市	保1名
7/20	札幌市第3回保育所職員研修「遊びを育てる保育士」	札幌市	保2名
7/19	第3回札幌市保育所職員研修会「子どもを預かる施設における深刻事故予防とコミュニケーション」	札幌市	園/保2名
7/27	札幌市社会福祉協議会「ニューパワーセミナー」	札幌市	園・保2名
8/ 2	札幌市第4回保育所職員研修会「気になる子どもの保育」	札幌市	保2名
8/ 8	私保連研修「保育園死亡事故から学ぶ保育」	札幌市	保1名
8/21.22	札幌市社会福祉協議会「救急法セミナー」	札幌市	保各1名
8/29	札幌市第5回保育所職員研修会「早寝、早起き、朝ご飯」	札幌市	保・栄2名
8/18	第2回厚別区幼保小連携推進協議会研修	札幌市	園・保3名
9/26	私保連研修「アンガーマネジメント研修」	札幌市	保1名
10/12	北海道栄養士会福祉栄養士協議会秋期職域別専門研修会	札幌市	栄1名
10/22	札幌市第6回保育所職員研修「スキンシップの魔法」	札幌市	保2名

10/30	札幌市オレンジリボン地域協力員全体研修会	札幌市	保1名
10/30	厚別区保育所職員研修	札幌市	園・保10名
10/29 30	札幌市障がい児保育研修	札幌市	保各1名
11/6・7	札幌市障がい児保育研修「グループ研究」	札幌市	保2名
11/ 9	私保連保育研究大会基調講演	札幌市	園/保6名
11/10	私保連保育研究大会分科会	札幌市	保3名
11/13	札幌市第7回保育所職員研修会「子どもの動機づけ」	札幌市	保2名
11/27	厚別区保健福祉部研修会「児童虐待予防・防止研修会」	札幌市	園・保1名
12./10	気になる子の地域支援ネットワーク連絡会研修	札幌市	保1名
1/10	厚別区方保障連携推進協議会研修・引継ぎ	札幌市	園・保2名
1/17	私保連研修「パワーポイント講習会」	札幌市	園・保2名
2/ 1	私保連研修「新しい保育所指針の論点」	札幌市	保1名
3/23	いじめやDVを子に世の中からなくしたい	札幌市	園・保4名
9/22	キャリアアップ研修「幼児教育分野」	札幌市	種村
10/13	キャリアアップ研修「幼児教育分2回目」	札幌市	種村
1/22/23	キャリアアップ研修「乳児保育」	札幌市	種村
1/26.27	キャリアアップ研修「障害児保育」	札幌市	柳
2/23・24	キャリアアップ研修「保健衛生・安全対策」	札幌市	木村
2/14	全国経営協平成30年度 保育事業経営セミナー	札幌市	園1名
2/28	社会福祉法人 会計セミナー決算編	札幌市	事1名

(4)勤務時間

- 勤退のシステムが入ったことで、時間の使い方を少しずつ工夫し、保育と事務仕事など協力体制ができ始めた。シフト勤務も連携でき、声を掛け合うことが出来た。土曜日に登園する園児が少ない時など有効に保育活動や行事の準備などを行うことができた。

(5)諸会議

- 各会議等の打ち合わせはほぼ計画通りに実施出来たが、カリキュラム会議の時間は、長くかかるため保育や個別の子どものお話し合いを深めることは難しかった。全職員揃っての研修や会議の時間確保も難しく会議の内容の伝達・共有方法を検討していく。

【幌西ほうおん概要】

— 生活介護・就労継続支援(B型) ～ 多機能型 —

1. 支援目標(反省)

- ・ 利用者の自立支援をはじめ、住み慣れた街での地域生活を支えるために、社会資源を活用した日中活動の提供を行いました。
- ・ 個々の能力や個別の状況に応じ、働くことや地域の方々とのコミュニケーションの機会を経験することで、地域の一員としての役割を感じる取り組みを行いました。

2. 利用者支援

(1)受入目標 4,488 名(達成率:72.6%)

生活介護定員 15 名(契約数 15 名) ⇒年間延べ利用者数:2,638 名

就労継続B型定員10名(契約数 5 名) ⇒年間延べ利用者数: 624 名

合計 3,264 名

(2)在籍実績

区 分	人 員
平成 30 年度の利用者総数	22 名
平成 30 年度中の退所者数	2 名
平成 29 年 4 月 1 日開所以来の利用者数	30 名

①利用者月別人員調べ(多機能)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
契約者数	19	19	20	19	20	19	19	19	19	19	19	20	231
延べ人数	275	297	279	286	283	243	274	277	269	239	254	286	3,262
開所日数	25	27	27	26	27	25	26	26	26	24	24	27	310
月平均	11	11	10.3	11	10.4	9.7	10.6	10.7	10.3	9.9	10.6	10.6	10.5
入所	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	5
退所	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2

②本年度退所者調べ

	男 性	女 性	合 計
他施設へ	1	0	1
家 庭	0	1	1
就 職	0	0	0
計	1	1	2

③本年度入所者調べ

理 由	男 性	女 性	計
他施設から	0	0	0
家庭から	3	1	4
その他	0	0	0
計	3	1	4

④ 在籍者、程度別調べ

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
区分6	5	5	5	5	5	5	5	5	6	6	6	6	64
区分5	7	7	7	7	7	7	7	7	6	6	6	6	80
区分4	4	4	5	4	5	4	4	4	4	4	4	4	50
区分3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未実施	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	25
計	19	19	20	19	20	19	19	19	19	19	19	20	231

(3)利用者日課

9:30	登園・朝の会
9:45	ラジオ体操
9:50	活動開始
12:00	昼食・休憩
13:00	ラジオ体操
13:15	活動開始
15:00	休憩・自由時間
15:30	掃除
15:50	帰りの会
16:00	帰宅

(4)事業所目標(反省)

[生活介護]

- 日中活動の充実、年間行事の充実を図る。
⇒利用者さんの契約数が増えた2年目。昨年度に引き続き個々の特性を把握するため、日中生活支援、機能訓練、創作活動等、様々な活動プログラムを実施した。また、利用者さんの自立を基本に、それぞれの能力に応じた支援、意思決定支援を意識し取り組んだ。行事については季節に沿った屋内外の行事を企画し、利用者さんが楽しめる機会を提供した。
- 送迎業務を安全に行ない、送迎範囲の拡大を目指す。
⇒利用状況が日々異なり煩雑ではあったが、月間送迎表を基に都度臨機応変に対応し、1年間事故無く安全に送迎することができた。

[就労継続支援(B型)]

- B型作業の安定化を目指す。
⇒利用者さんの契約状況は半数だったが、委託作業、飲食作業共に安定した活動を継続した。カフェの売り上げに関しては、昨年比 1.6 倍増、低額ながら還元工賃も 1.1 倍の増額を達成した。
- 近隣住民との連携を深め、地域福祉の拠点としての役割を果たす。
⇒カフェすみれを活用した、民児協や慈啓会病院等、他機関との交流事業の他、町内会会合、他法人行事等、様々な用途でご利用いただけるよう対応した。

[短期入所]

- 短期入所を稼働する。
⇒利用希望が多く寄せられている現状だが、夜間の受け入れ体制が十分に整っておらず、毎月1回(2～4名)の実施にとどまった。

(5)行事報告

月	日	曜日	行事等	施設内・外	利用者参加数
5	9	水	お花見会	モエレ沼公園	13名
7	20	金	バス遠足	円山公園	10名
8	7	火	七夕まつり	2階ホール・食堂	12名
9	15	土	創立100周年お祝い会	カフェすみれ	15名
10	10	水	登山、ハイキング	札幌ふれあいの森	10名
11	14	水	秋の食事外出(3グループ)	徳寿他	13名
12	25	火	クリスマス会	2階ホール・カフェ	14名
1	9	水	新年会(餅つき、レクリエーション)	1階、2階ホール	17名
2	5	火	節分・豆まき	2階ホール	13名
2	7	木	冬の外出(3グループ)	大通公園他	13名
3	29	金	お疲れ様会	3階ホール・カフェ	14名

3. 職員の勤務状況

(1)職員数

管理者	サービス管理責任者	生活支援員	職業指導員	目標工賃達成指導員	看護師	協力医	合計
(0) 1	(1) 0	(1) 5	(0) 1	(0) 1	(1) 0	(1) 0	(4) 8

※()は臨時職員・嘱託職員・パート職員・兼務職員

(2)職員の異動

報恩学園からの異動			ワークショップ上野幌へ異動		
発令年月日	職名	人数	発令年月日	職名	人数
30.4.1	生活支援員	1名	31.3.31	管理者	1名
ワークショップ上野幌からの異動					
30.4.1	職業指導員	1名			

(3)職員の研修

日程	研修名	開催地	出席者
H30.5.21-22	全道施設長研修会	札幌市	1名
H30.7.2	社会福祉法人経営セミナー	札幌市	1名
H30.7.4-5	北海道知的障がい関係支援員研修	札幌市	1名
H30.7.7-10	第43期福祉施設長講座	神奈川県	1名
H30.7.14	4法人個別支援計画作成研修	北広島市	1名
H30.8.8	権利擁護セミナー	札幌市	1名
H30.9.3	社会福祉施設ブロック研修会	札幌市	1名
H30.10.18-19	相談支援従事者研修	札幌市	1名
H30.10.27	4法人個別支援計画作成研修	恵庭市	1名
H30.11.21	法人役員・施設長専門研修	札幌市	1名
H30.11.29-30	日中活動支援部会研修	横浜市	1名
H30.12.10-11	知的関係支援員初任者研修	札幌市	1名
H30.1.22	社会福祉法人会計財務分析講座	札幌市	1名
H31.2.15	札幌市知的障がい福祉協会職員研修会	札幌市	1名
H31.2.16-19	第43期福祉施設長専門講座	神奈川県	1名
H31.2.21-22	全道施設長研修会セミナー	札幌市	1名

(4)勤務時間

- ・ 勤務時間については、現勤務時間で特に問題はなかった。
- ・ 送迎時間については、冬時間対応が必要となった。

(5)諸会議

- ・ 定例の会議については、予定通り実施することができた。必要に応じ随時臨時の会議を設け対応した。
- ・ 給食会議を委託業者との定例会議を実施したことにより、情報交換を図った。